

DUK-W69D (08607-K9003)

MONITOR WITH DVD RECEIVER

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

ダイハツ工業株式会社



安全上のご注意 (必ずお守りください) 4

使用上のご注意 6

| | |
|----------------|---|
| 本機の異常にお気づきのときは | 6 |
| 本機のお手入れについて | 6 |
| モニター画面について | 6 |
| 免責事項について | 6 |
| 電波について | 7 |

基本操作編

本機の基本操作方法を説明します。
まずはここから覚えましょう。

共通の操作 8

| | |
|------------------|----|
| 各部の名称とはたらき | 8 |
| ステアリングスイッチを使う | 9 |
| 画面操作と切り替えかた | 10 |
| 電源をオン/オフする | 12 |
| 音量を調節する | 12 |
| ソースを切り替える | 12 |
| システムを設定する | 12 |
| ポップアップメニューで切り替える | 12 |

はじめの設定 13

| | |
|-------------|----|
| 初期設定をする | 13 |
| 時計を合わせる | 13 |
| パネルの角度を調整する | 14 |
| 視野角を調整する | 14 |

ソース別操作編

ラジオ、DVD、外部接続機器などソース別に
操作方法を説明します。

CD 15

| | |
|-----------|----|
| 音楽CDを再生する | 15 |
|-----------|----|

オーディオ/ビデオ/ピクチャファイル
ディスク 16

| | |
|-------------------|----|
| ファイルを再生する | 16 |
| 設定を変更する | 18 |
| 再生するファイルをリストで選択する | 19 |

DVD 20

| | |
|--------------------|----|
| DVDビデオ/DVD-VRを再生する | 20 |
| ディスクメニューを操作する | 22 |
| DVDセットアップメニューを表示する | 23 |

ビデオCD 24

| | |
|--------------|----|
| ビデオCDを再生する | 24 |
| 曲番号を指定して選曲する | 25 |

ラジオ 26

| | |
|----------------------------------|----|
| ラジオを聞く・操作する | 26 |
| 放送局を自動登録する (オートメモリー) | 27 |
| 受信中の放送局を1つずつ 登録する (プリセットメモリー) | 27 |
| 登録した放送局を呼び出す | 28 |
| 交通情報を受信する | 28 |

USB 29

| | |
|-------------------|----|
| ファイルを再生する | 29 |
| 設定を変更する | 31 |
| 再生するファイルをリストで選択する | 32 |

iPod/iPhone 33

| | |
|-------------------|----|
| iPod/iPhoneを接続する | 33 |
| iPod/iPhoneを再生する | 34 |
| 設定を変更する | 35 |
| 再生するファイルをリストで選択する | 35 |

Android 36

| | |
|--------------|----|
| Androidを再生する | 36 |
|--------------|----|

ドライブレコーダーを使う 37

バックモニター・パノラマモニターを
使う 38

| | |
|---------------------------|----|
| 使用上のご注意 | 38 |
| ダイハツ純正 バックモニターを使う | 38 |
| ダイハツ純正 3モードカメラを使う | 40 |
| ダイハツ純正 パノラマモニターを使う | 42 |

機能設定編

画面やオーディオ、表示設定など本機の機能を
設定します。

メニューコントロール 44

| | |
|-----------------|----|
| メニューコントロールを設定する | 44 |
| 映像ソースの画質を調整する | 45 |
| 画面モードを設定する | 46 |
| ズームで画面を拡大する | 47 |

オーディオ設定 48

| | |
|------------------|----|
| オーディオ設定をする | 48 |
| プリセットイコライザーを設定する | 48 |
| ユーザーイコライザーを設定する | 49 |
| 音響効果を設定する | 50 |
| フェーダーバランスを設定する | 51 |
| スピーカーを設定する | 52 |
| リスニングポジションを設定する | 53 |
| ソースの音量バランスをそろえる | 54 |

画面設定 55

| | |
|-------------------|----|
| 画面を設定する | 55 |
| イルミネーション色を設定する | 56 |
| 背景画像を読み込み変更する | 57 |
| ソースアイコンを好きな順番に並べる | 58 |
| 画面の明るさを調節する | 58 |

システム設定 59

| | |
|-----------------|----|
| システムを設定する | 59 |
| 設定を保存する/呼び出す | 60 |
| セキュリティーコードを設定する | 61 |
| タッチ位置を調整する | 61 |

Bluetooth 62

| | |
|-----------------------|----|
| Bluetooth機器の使用にあたって | 62 |
| Bluetooth機器の接続 | 62 |
| ハンズフリーを使う | 66 |
| Bluetoothオーディオ機器を再生する | 71 |
| 再生するファイルをリストで選択する | 72 |
| Bluetoothの設定をする | 72 |

資料編

本機で使用できるディスクやコントロールで
きる機器などについて説明します。

DVD言語コード表 74

| | |
|-----------|----|
| DVD言語コード表 | 74 |
|-----------|----|

ディスクについて 75

| | |
|------------------|----|
| 本機で再生できるディスクメディア | 75 |
| DVDのリージョン番号 | 75 |
| 操作規制マークについて | 75 |
| 使用できないディスク | 76 |
| ディスクの取り出しかた | 76 |
| ディスクの取り扱いについて | 76 |
| ディスクのお手入れ | 76 |
| ディスクの保存 | 76 |
| ディスク用アクセサリについて | 76 |
| レンズクリーナーについて | 76 |
| 結露について | 76 |

メディアおよびファイルについて 77

| | |
|--------------------------------|----|
| 本機で再生できるメディア | 77 |
| 本機で再生できるオーディオ/ ビデオ/ピクチャファイル | 78 |

Androidについて 79

| | |
|---------------------|----|
| 本機に接続できるAndroidについて | 79 |
| Androidの接続ケーブルについて | 79 |

iPodについて 79

| | |
|----------------------|----|
| 本機でコントロールできるiPodについて | 79 |
|----------------------|----|

故障かな?と思ったら 80

用語解説 85

商標 86



仕様 87

保証とアフターサービス
(必ずお読みください) 89




安全上のご注意(必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。




| | |
|---|--|
|  警告 | 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  注意 | 人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

- お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

| | |
|---|-----------------------|
|  | 注意(しなければならぬ)の内容です。 |
|  | 禁止(してはいけない)の内容です。 |
|  | 実行(かならず行っていただく)の内容です。 |

使用方法について

警告

-  **分解・修理および改造はしない**
分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。
-  **音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない**
車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。
-  **雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない**
落雷による感電の原因となります。



機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。

故障や異常な状態のまま使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない

必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。



ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店に依頼してください。

注意



本機を車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。



可動部やディスク挿入口に手や指を入れない

モニター開閉や角度調整の時にはご注意ください。けがの原因となることがあります。

USB機器、AUX外部機器、およびそれらの接続ケーブルは、運転に支障をきたさないような場所に固定してください。

異常時の問い合わせ

警告



異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する

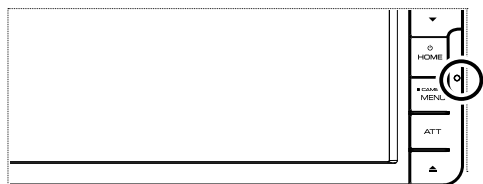
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

使用上のご注意

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かな?と思ったら」(→ P.80)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。

リセットボタンを押しても正常に戻らないときは、本機の電源を切り、お買上げの販売店へ相談してください。



本機のお手入れについて

画面や操作ボタンが汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。硬い布やアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。傷が付いたり文字が消えることがあります。

モニター画面について

- 画面部をボールペンなどの先のとがった物で操作しないでください。画面が損傷する場合があります。
- 画面部に強い衝撃を加えないでください。故障の原因になります。
- 画面部に保護用フィルムなどを貼らないでください。タッチ操作時に誤動作する場合があります。
- 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
- 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- 画面に小さな点ができることがあります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面の特性により、液晶を見る角度によっては表示が見づらいことがあります。故障ではありません。

免責事項について

- お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

電波について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています(受けた部品を使用しています)。

- したがって、本機を使用するときには無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また、本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
 - 分解/改造すること
 - 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- 本機は2.4GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

使用上のご注意

- 製品に表示している周波数表示の意味は下記のとおりです。

2.4 FH 1

2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線機器です。

FH : FH-SS変調方式を表します。

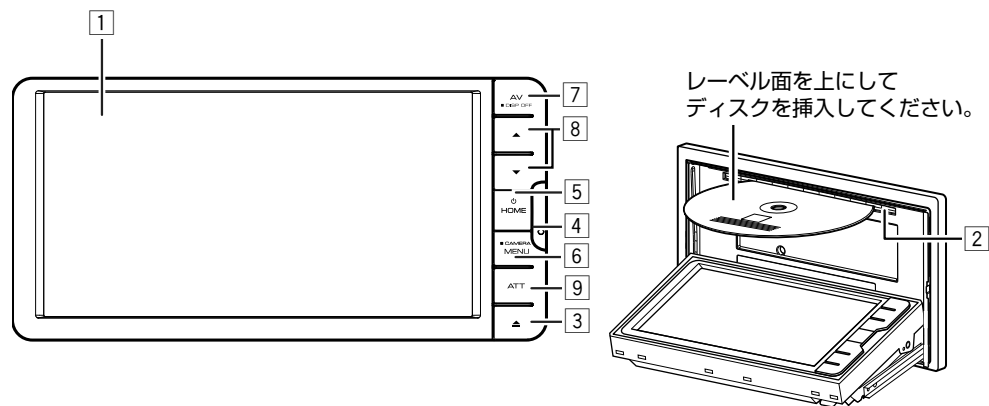
1 : 電波と干渉距離は10mです。

□ □ □ : 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域回避可能です。

- 使用可能距離は見通し距離約10mです。鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
 - 2.4GHzの周波数帯域を利用する無線LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
 - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CSチューナー、VICSなどのアンテナ入力端子を持つAV機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。
- 本機は電波を使用しているため、第三者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

本書の画面や操作例は操作説明用に作成したものです。実際の画面と異なる画面や、実際には行えない例が記載されている場合があります。

各部の名称とはたらき



| 番号 | 名前/本書での表記 | 動作 |
|----|-----------|--|
| 1 | 画面 | 映像や操作画面を表示します。画面に出るボタンやアイコンにタッチして本機を操作します。 |
| 2 | ディスク挿入口 | ディスクのレーベル面を上にして差し込みます。 |
| 3 | イジェクトボタン | <ul style="list-style-type: none"> ディスクを取り出します。 ディスクを取り出さないと、約15秒で自動的に引き込まれます。 パネルをオープンまたはクローズします。 |
| 4 | リセットボタン | <ul style="list-style-type: none"> 本機をリセットします。(→ P.6) |
| 5 | HOMEボタン | <ul style="list-style-type: none"> 本機の電源をオンにします。1秒以上押すと本機の電源をオフにします。 電源がオンのときに押すと、ホーム画面を表示します。(→ P.10) |
| 6 | MENUボタン | <ul style="list-style-type: none"> ポップアップメニューを表示します。(→ P.12) 1秒以上押すと、ダイハツ純正バックモニター、ダイハツ純正パノラマモニターの映像を表示します。(→ P.38、P.42) |
| 7 | AVボタン | <ul style="list-style-type: none"> 選択しているソース画面を表示します。 1秒以上押すと画面表示をオフします。画面表示がオフ中は画面にタッチすると画面を表示します。 |
| 8 | ボリュームボタン | <ul style="list-style-type: none"> 音量を調節します。 |
| 9 | ATTボタン | <ul style="list-style-type: none"> 押すと音量を一時的に小さくして"ATT"と表示します。もう一度押すと元の音量に戻ります。 |

ステアリングスイッチを使う

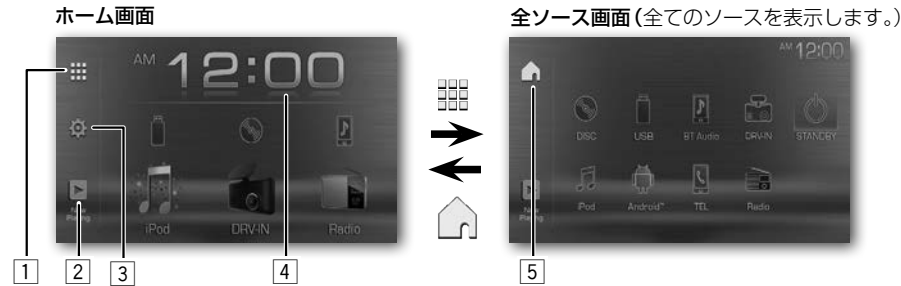
ステアリングスイッチを装備している車両は、ステアリングスイッチから本機を操作することができます。
(☎と*キーは車両により対応していない場合があります)

| 項目 | 説明 |
|-------|---|
| 🔊 / 🔊 | AVの音量を調整(0~35)します。 ハンズフリー電話中は、着信音量と受話音量を調整(0~35)します。 |
| < / > | <ul style="list-style-type: none"> FM/AM、地デジ： 放送局を切り替えます。 FM/AM受信中に押し続けると、受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。 交通情報： 1620 kHzまたは1629 kHzを切り替えます。 音楽/ビデオ再生： 前/次の曲、ビデオまたはファイルを再生します。 押し続けると、早送り/早戻しします。 |
| MODE | AVソースを切り替えます。 ディスクが挿入されていない場合や機器が接続されていないなど、選択できないソースはスキップされます。 押し続けると「STANDBY」になります。もう一度押し続けると元のソースに戻ります。 |
| ☎ | ハンズフリーの電話を受け付けます。通話中に押し続けるとハンズフリーの電話を切ります。(Bluetooth 接続中) |
| * | AVソースの音量を一定量下げます。 もう一度押すと元の音量に戻ります。 |

画面操作と切り替えかた

ホーム画面

本機の操作はここからスタートします。画面にタッチして、ラジオなどのソースを選択したり、全ソース画面、設定画面、ソース操作画面などに切り替わります。



- 1 全ソース画面に切り替わります。
 - 2 現在選択しているソース操作画面に切り替わります。
 - 3 設定画面に切り替わります。
 - 4 時刻設定画面に切り替わります。
 - 5 ホーム画面に切り替わります。
- ラジオ、ディスク、iPodなどを本書ではソースと呼びます。
 - STANDBY(スタンバイ)は何も再生していない状態です。

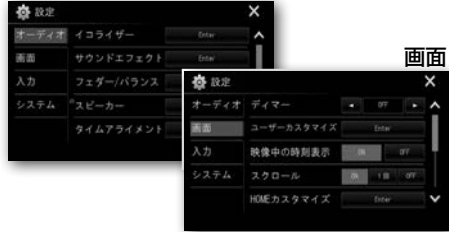
HOME ↑

↓ ⚙️

設定画面

時刻調整など本機の各種項目を設定する画面です。
 [HOME] ボタンを押すとホーム画面に切り替わります。
 [X] にタッチすると設定画面を終了します。
 [←] にタッチすると1つ前の画面に戻ります。

オーディオ



画面



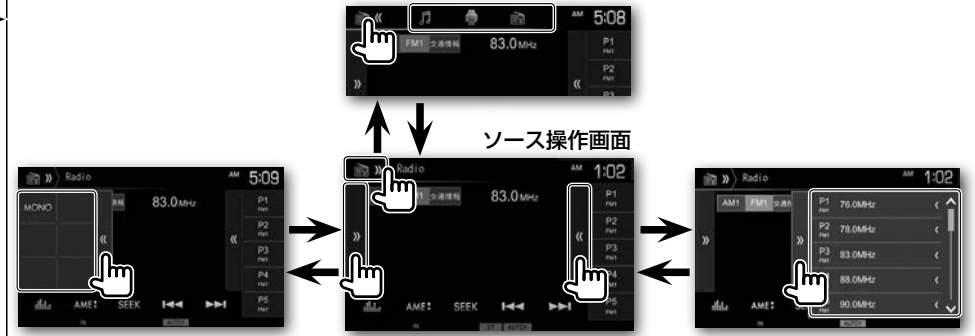
入力



ソース操作画面

選択したソースの操作画面です。
 [HOME] ボタンを押すとホーム画面に切り替わります。

ショートカットメニューボタン
 ホーム画面に戻らなくても、ホーム画面の大きな3つのソースアイコンのソースに切り替えることができます。タッチすることに表示を切り替えます。



操作ボタン
 ソース操作画面に表示していない操作ボタンを表示します。タッチすることに表示を切り替えます。

プリセットボタン
 ラジオなど登録した放送局をリスト表示します。タッチすることに表示を切り替えます。

DVD/ビデオCD/USB機器など、映像再生中は画面にタッチして操作画面を呼び出します。

DVDのときの操作例：

画面上部中央にタッチすると
 メニューコントロール画面を表示します。



前のチャプターやファイルを再生します。

次のチャプターやファイルを再生します。

画面下部中央にタッチすると操作ボタンを表示します。





1 電源をオン/オフする

[HOME] ボタンを押して本機の電源をオンにします。
1秒以上押しすと本機の電源をオフにします。

2 音量を調節する

ボリュームボタンを押して音量を調節します。

音量を一時的に小さくするには...
ATTボタンを押します。

音量を一時的に小さくします(アッテネーター)。アッテネーター中は"ATT"と表示します。もう一度押しすとアッテネーターを解除します。

3 ソースを切り替える

アイコンにタッチして再生するソースを切り替えます。ホーム画面が表示されていないときは、[HOME] ボタンを押します。

- ラジオ、ディスク、iPodなどを本書ではソースと呼びます。
- [] にタッチすると全ソース画面に切り替わります。
- STANDBY(スタンバイ)は何も再生していない状態です。

4 システムを設定する

時計調整など本機の各種項目を設定する画面に切り替えます。(→ P.10)

5 ポップアップメニューで切り替える

[MENU] ボタンを押すとポップアップメニューを表示します。もう一度押しすと、元の状態に戻ります。画質調整やリアカメラなどを簡単に呼び出すことができます。

| | |
|-------------------|--|
| TEL | 電話画面を表示します。(→ P.67) |
| Screen Adjustment | 画像調整または画質調整画面を表示します。(→P.45、P.58) |
| Display OFF | 画面表示をオフします。画面表示がオフ中は画面にタッチすると画面を表示します。 |
| Camera | ダイハツ純正 バックモニター、 ダイハツ純正 パノラマモニターの映像を表示します。(→ P.40、P.42) ダイハツ純正 3モードカメラの場合はシフトレバーを"R"(リバーズ)にすると映像を表示します。 |
| SETUP | 設定画面を表示します。(→ P.10) |
| Current Source | 現在選択しているソース操作画面に切り替わります。(→ P.11) |

ポップアップメニュー



はじめの設定

初期設定をする

初めて電源をオンしたときや、リセットボタンを押したときは初期設定画面を表示します。必要であれば、リアカメラなどの設定を行います。

1 電源をオンする

2 各項目を設定する



設定項目

| | |
|------------|--|
| パネル角度調整 | パネルの角度を調整します。調整 (→ P.14) |
| リアカメラ | ダイハツ純正 バックモニターの設定をします。 ダイハツ純正 パノラマモニターと ダイハツ純正 3モードカメラを接続している場合はこの設定の必要ありません。(→ P.38) |
| ユーザーカスタマイズ | 操作ボタンのイルミネーション色と画面の背景画像を設定します。(→ P.56) |
| 視野角調整 | 視野角の調整を行います。(→ P.14) |

3 [終了] にタッチして終了する

時計を合わせる

時計を合わせます。時計は12時間制で表示します。

1 [HOME] ボタンを押して、ホーム画面を表示させ[] にタッチする

2 [システム] にタッチする



3 時刻設定の[Enter] にタッチする



4 時刻を合わせる



- 1 [▲]/[▼] にタッチして、時を調整します。
- 2 [▲]/[▼] にタッチして、分を調整します。
- 3 [リセット] 00分に合わせます。
例: 3:00 - 3:29 → 3:00
3:30 - 3:59 → 4:00

5 [X] または [←] にタッチして終了する

パネルの角度を調整する

画面が見やすくなるようにパネルの角度を調整します。また車両のイグニッションキーを「OFF」にしたときのパネル角度も登録できます。

1 好きな角度(0~6)にタッチする



車両のイグニッションキーを「OFF」にしたときのパネル角度を登録するときは、パネル角度調整を設定した後、**[保存]**にタッチします。

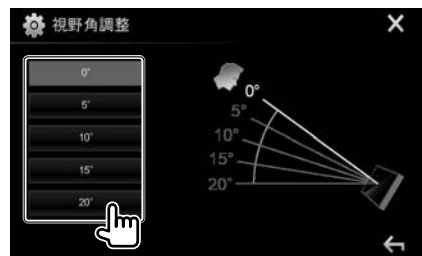
2 [←] にタッチして終了する

・パネル角度調整は「画面設定」からも調整できます。(→ P.55)

視野角を調整する

画面が見やすくなるように視野角を調整します。

1 使用時の視野角(0° ~20°)にタッチする



2 [←] にタッチして終了する

・視野角調整は「画面設定」からも調整できます。(→ P.55)

CD

音楽CDを再生する

ディスクのレーベル面を上にして、ディスクをディスク挿入口に差し込みます。挿入すると自動で再生します。

□ディスクに切り替える

[HOME] ボタンを押して、ホーム画面または全ソース画面を表示させ、**[DISC]**にタッチする。

→ ディスクを取り出すときは...

◀▶ (イジェクト) ボタンを押す。

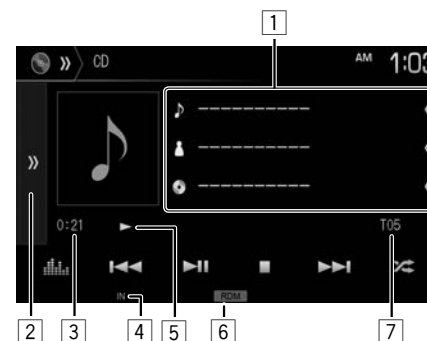
⑥ リピート/ランダム再生表示

⑦ トラック番号

操作ボタンのはたらき

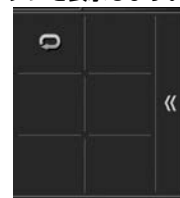
| | |
|--|--|
| | イコライザー画面を表示します。(→ P.48) |
| | 前または次の曲を再生します。タッチし続けると、早送りまたは早戻しします。 |
| | 再生または一時停止(ポーズ)します。 |
| | 再生を停止します。 |
| | ランダム(RDM)再生をオン/オフします。オンのときには、CDの全曲が順不同に再生されます。 |
| | リピート(REP)再生をオン/オフします。オンのときには、現在再生中の曲が繰り返し再生されます。 |

【CD再生画面】



① 曲名/アーティスト名/アルバム名表示(テキスト情報が入っていると表示します。)表示するテキスト情報が多い場合は[<]にタッチするとスクロール表示します。

② [⏮] にタッチすると表示されていない操作ボタンを表示します。



[⏮] にタッチすると操作ボタンを消します。

③ 演奏時間

④ ディスク表示(ディスクが本機にセットされていると"IN"と表示します。)

⑤ 再生状態表示

・ランダム再生、リピート再生がオンのときには、再生の状態を表示します。

・ランダム再生、リピート再生は同時に選択できません。

ファイルを再生する

ディスクのレーベル面を上にして、ディスクをディスク挿入口に差し込みます。挿入すると自動で再生します。

□ディスクに切り替える

[HOME] ボタンを押して、ホーム画面または全ソース画面を表示させ、[DISC]にタッチする。

→ディスクを取り出すときは...

▲ (イジェクト) ボタンを押す。

オーディオファイルの再生

【オーディオファイル再生画面】



- 1 アルバムアート画像
- 2 曲名/アーティスト名/アルバム名表示 (テキスト情報が入っていると表示します。) 表示するテキスト情報が多い場合は[<]にタッチするとスクロール表示します。

- 3 [] にタッチすると表示されていない操作ボタンを表示します。



[] にタッチすると操作ボタンを消します。

- 4 演奏時間

- 5 ディスク表示 (ディスクが本機にセットされていると"IN"と表示します。)
- 6 再生状態表示
- 7 リピート/ランダム再生表示
- 8 ファイルの種類表示
- 9 フォルダ番号
- 10 ファイル番号

操作ボタンのはたらき

- イコライザー画面を表示します。(→ P.48)
- 再生リストを表示します。再生するファイルを選択できます。(→ P.19)
- 前または次のファイルを再生します。タッチし続けると、早送りまたは早戻しします。
- 再生または一時停止 (ポーズ) します。
- タッチするたびにフォルダ(FO-RDM)/全ファイル(RDM)/オフを切り替えます。オンときには、フォルダ内または全ファイルが順不同に再生されます。
- 前のフォルダの先頭のファイルから再生します。
- 次のフォルダの先頭のファイルから再生します。
- タッチするたびに1ファイル(REP)/フォルダ(FO-REP)/オフを切り替えます。オンときには、現在のファイルまたはフォルダ内のファイルが繰り返し再生されます。
- 再生を停止します。
- MODE** 再生したいファイルの種類や外部接続するモニタータイプを設定します。(→ P.18)

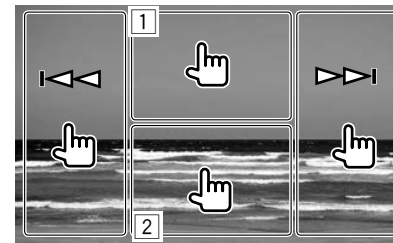
- ランダム再生、リピート再生がオンときには、再生の状態を表示します。
- ランダム再生、リピート再生は同時に選択できません。
- アルバムアート画像は、情報があるときに表示されます。

ビデオ/ピクチャファイルの再生

【ビデオ/ピクチャファイル再生画面】



【ビデオ/ピクチャファイル再生画面 (スキップ)】



- 1 画面上部中央にタッチすると、メニューコントロール 画面が表示されます。(→ P.44)
- 2 画面下部中央にタッチすると、操作ボタンが表示されます。

【操作ボタン画面】



- 1 再生状態表示
- 2 フォルダ番号
- 3 ファイル番号
- 4 演奏時間

- 5 [] にタッチすると表示されていない操作ボタンを表示します。



[] にタッチすると操作ボタンを消します。

- 6 ディスク表示 (ディスクが本機にセットされていると"IN"と表示します。)
- 7 リピート/ランダム再生表示
- 8 ファイルの種類表示

操作ボタンのはたらき

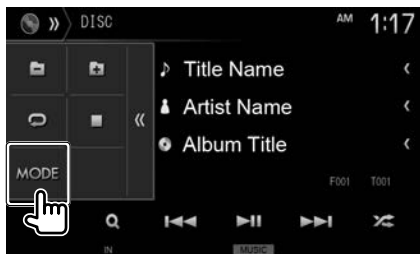
- イコライザー画面を表示します。(→ P.48)
- 再生リストを表示します。再生するファイルを選択できます。(→ P.19)
- 前または次のファイルを再生します。ビデオファイルのときは、タッチし続けると、早送りまたは早戻しします。
- 再生または一時停止 (ポーズ) します。
- タッチするたびにフォルダ(FO-RDM)/全ファイル(RDM)/オフを切り替えます。オンときには、フォルダ内または全ファイルが順不同に再生されます。
- 前のフォルダの先頭のファイルから再生します。
- 次のフォルダの先頭のファイルから再生します。
- タッチするたびに1ファイル(REP)/フォルダ(FO-REP)/オフを切り替えます。オンときには、現在のファイルまたはフォルダ内のファイルが繰り返し再生されます。
- 再生を停止します。
- MODE** 再生したいファイルの種類や外部接続するモニタータイプを設定します。(→ P.18)

- ランダム再生、リピート再生がオンときには、再生の状態を表示します。
- ランダム再生、リピート再生は同時に選択できません。
- 走行中は、ビデオ/ピクチャファイルの映像は映りません。

設定を変更する

再生したいファイルの種類や外部接続するモニタータイプを設定します。

- 1 [] にタッチして操作ボタンを表示させてから、[MODE]にタッチする



ビデオやピクチャファイルを再生しているときは、画面下部中央にタッチして操作ボタンを表示させて、[MODE]にタッチします。



2 各項目を設定する



3 [] にタッチして終了する

設定項目

| |
|---|
| 再生するファイルの種類に応じてファイルタイプを選択します。 |
| ファイルタイプ 音楽(オーディオ) / 静止画像(ピクチャ) / 映像(ビデオ) / 音楽と映像*(オーディオとビデオ) |
| 映像出力端子に接続した外部モニターのモニタータイプを設定をします。(→ P.23) |
| モニタータイプ 16:9*/4:3LB/4:3PS |

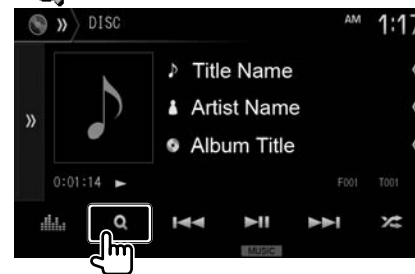
*お買い上げ時の設定

- ・ディスク再生に必要な設定項目のみ記載しています。

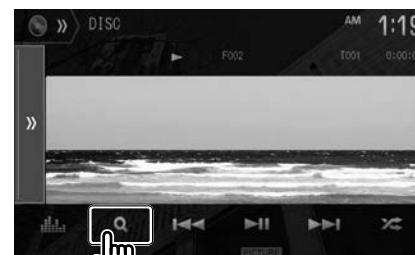
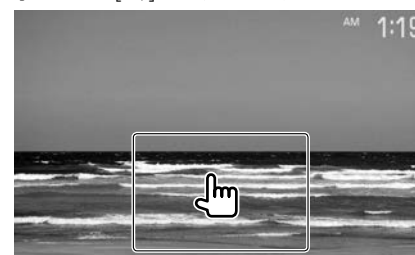
再生するファイルをリストで選択する

再生するファイルを選択します。

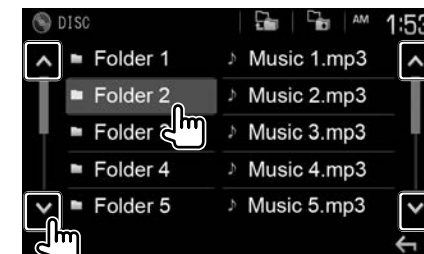
- 1 [] にタッチする



ビデオやピクチャファイルを再生しているときは、画面下部中央にタッチして操作ボタンを表示させて、[]にタッチします。

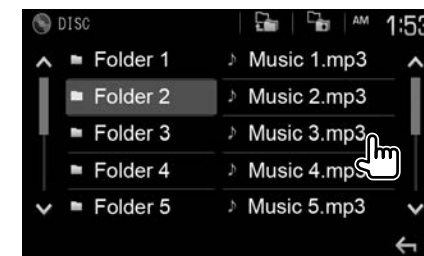


2 フォルダを選んでタッチする



[]/[]にタッチするとリストを移動します。ファイルのリストが表示されるまで繰り返します。

3 再生するファイルを選んでタッチする



選択したファイルが再生されます。

- ・リストに表示されるファイルは「設定を変更する」のファイルタイプで選択した種類のファイルが表示されます。(→ P.18)
- ・選んだフォルダの下位にさらにファイルがあるときは、▶が表示されます。
- ・[]にタッチすると最上位階層へ []にタッチするとリストの1階層上に戻れます。

DVDビデオ/DVD-VRを再生する

ディスクのレーベル面を上にして、ディスクをディスク挿入口に差し込みます。挿入すると自動で再生します。

□ディスクに切り替える

[HOME] ボタンを押して、ホーム画面または全ソース画面を表示させ、[DISC]にタッチする。

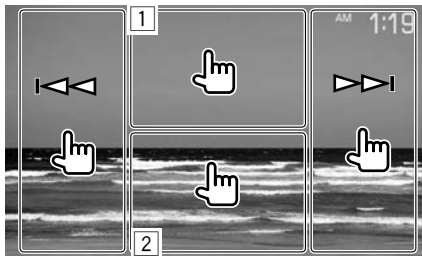
→ ディスクを取り出すときは...

▲ (イジェクト) ボタンを押す。

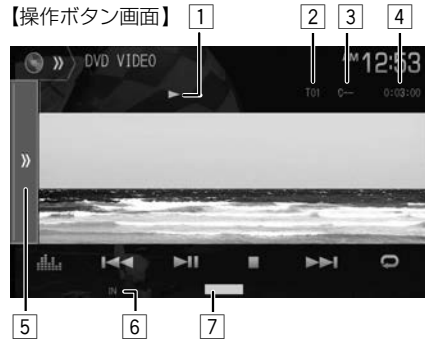
【DVD再生画面】



【DVD再生画面(スキップ)】



- 1 画面上部中央にタッチすると、メニューコントロール画面が表示されます。(→ P.21)
- 2 画面下部中央にタッチすると、操作ボタンが表示されます。



- 1 再生状態表示
- 2 タイトル番号
- 3 チャプター番号
- 4 演奏時間
- 5 [] にタッチすると表示されていない操作ボタンを表示します。



- [] にタッチすると操作ボタンを消します。
- 6 ディスク表示(ディスクが本機にセットされていると"IN"と表示します。)
- 7 リピート再生表示

操作ボタンのはたらき

| | |
|------|---|
| | イコライザー画面を表示します。(→ P.48) |
| | 前または次のチャプターを再生します。タッチし続けると、早送りまたは早戻しします。 |
| | 再生または一時停止(ポーズ)します。 |
| | 再生を停止します。 |
| | タイトル(T-REP)/チャプター(C-REP)リピート再生をオン/オフします。オンのときには、現在のタイトルまたはチャプターが繰り返し再生されます。 |
| MODE | DVDセットアップメニューを表示します(→ P.23)。 |



・ 走行中は、ビデオの映像は映りません。

【メニューコントロール画面】



操作ボタンのはたらき

| | |
|---------------|---|
| ZOOM | 再生画面を拡大します。(→ P.47) |
| Aspect | 画面モードを変更します。(→ P.46) |
| PictureAdjust | 画質を調整します。(→ P.45) |
| Audio | 音声の言語を切り替えます。 |
| Subtitle | 字幕の言語を切り替えます。 |
| Angle | アングルを切り替えます。 |
| MENU | ディスクメニューを表示します。(→ P.22) |
| T MENU | ディスクのトップメニューを表示します。(→ P.22) |
| Highlight | ディスクメニューをダイレクトに画面のボタンにタッチして選択します。(→ P.22) |
| CUR | ディスクメニューをカーソルで移動して選択します。(→ P.22) |

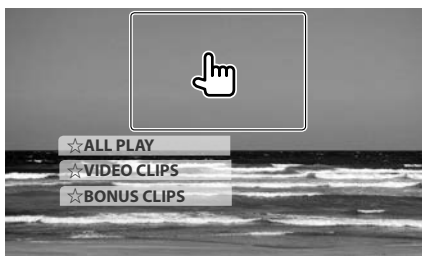
ディスクメニューを操作する

DVDビデオのディスクに収録されたメニュー（ディスクメニュー）を操作します。

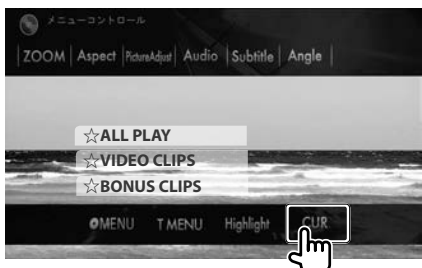
カーソルで操作するときは...

本機が表示するボタンで操作します。

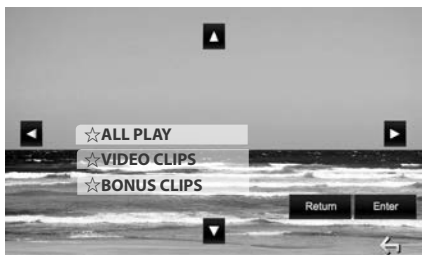
1 ディスクメニューの表示中に画面上部中央にタッチする



2 [CUR]にタッチする



3 各ボタンにタッチして操作する



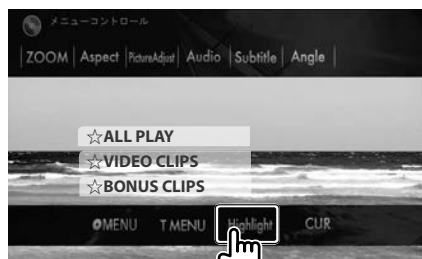
操作ボタンのはたらき

| | |
|--------|-------------------------|
| ◀▶▲▼ | カーソルを移動します。 |
| Return | ディスクメニューの1階層上の項目を表示します。 |
| Enter | 項目の選択を決定します。 |
| ↶ | DVD操作ボタンの画面に戻ります。 |

ダイレクトに操作するときは...

ディスクメニューの項目にタッチして操作する。

1 前項2で[Highlight]にタッチする



2 画面にタッチして操作する

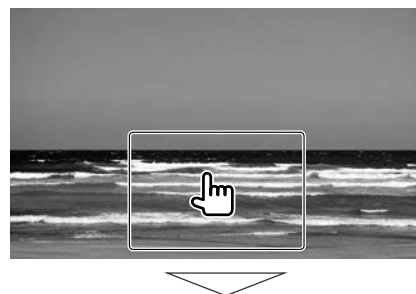


- 表示されるディスクメニューは再生しているDVDに固有のもので、操作できる内容はDVDによって異なります。
- ダイレクト操作を中止するときは、[↶]にタッチします。

DVDセットアップメニューを表示する

DVDに関する各種の設定を行います。




1 画面下部中央にタッチして、操作ボタンを表示させて[MODE]にタッチしてから[MODE]にタッチする



2 各項目を設定する



3 [↶]にタッチして終了する

| 設定項目 | 説明 |
|-----------|---|
| メニュー言語 | ディスクメニューの優先言語を設定します。 |
| サブタイトル言語 | 字幕の優先言語を設定します。 |
| 音声言語 | 音声の優先言語を設定します。 |
| ダイナミックレンジ | DVDの音声のダイナミックレンジを設定します。ダイナミックレンジはWide>Normal>Dialogの順に狭くなりますが、映画のセリフ等は明確に聞き取れるようになります。 Wide/Normal/Dialog* |
| ダウンミックス | ドルビーサラウンド音声または、音声をステレオで再生します。通常は、Stereoの設定でお使いください。 Dolby Surround/Stereo* |
| 16:9* | ワイドモードで表示します。通常はこの設定でお使いください。  |
| モニタータイプ | ワイド版の映像をレターボックス(LB)方式で表示します。このモードでは、画面の上下に黒い帯が出ます。  |
| 4:3LB | ワイド版の映像をパン&スキャン(PS)方式で表示します。このモードでは、画面の左右に黒い帯が出ます。  |
| 4:3PS | |

*お買い上げ時の設定

- 言語の選択は、DVD言語コード表を参照してください。(→ P.74)
- 設定した優先言語が再生するDVDに収録されていない場合は、DVDに収録されている言語になります。
- ディスクによっては、設定した優先言語やモニタータイプが変わらない場合があります。
- モニタータイプは、映像出力端子に接続した外部モニター用の表示設定です。
- モニタータイプを切り替えるときは、DVD再生を停止させてから行ってください。

ビデオCDを再生する

ディスクのレーベル面を上にして、ディスクをディスク挿入口に差し込みます。挿入すると自動で再生します。

□ディスクに切り替える

[HOME] ボタンを押して、ホーム画面または全ソース画面を表示させ、[DISC]にタッチする。

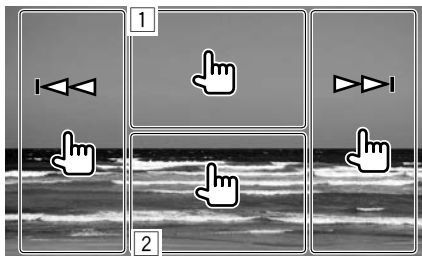
→ ディスクを取り出すときは...

▲ (イジェクト) ボタンを押す。

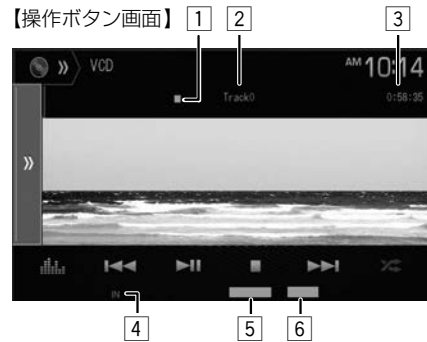
【ビデオCD再生画面】



【ビデオCD再生画面 (スキップ)】



- 画面上部中央にタッチすると、メニューコントロール画面が表示されます。(→ P.25)
- 画面下部中央にタッチすると、操作ボタンが表示されます。



- 再生状態表示
- トラック番号
- 演奏時間
- ディスク表示 (ディスクが本機にセットされていると"N"と表示します。)
- リピート/ランダム再生表示
- PBC(プレーバックコントロール)表示

操作ボタンのはたらき

- イコライザー画面を表示します。(→ P.48)
- 前または次のトラックを再生します。タッチし続けると、早送りまたは早戻しします。
- 再生または一時停止 (ポーズ) します。
- 再生を停止します。PBC (プレーバックコントロール) 機能がオンのときはPBCをオフします。
- タッチするたびにランダム(RDM)/オフを切り替えます。オンのときには、全トラックが順不同に再生されます。

- PBCがオンのときは、ランダム/リピート再生は選択できません。
- 走行中は、ビデオの映像は映りません。

【メニューコントロール画面】



操作ボタンのはたらき

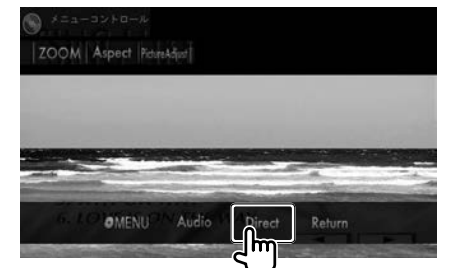
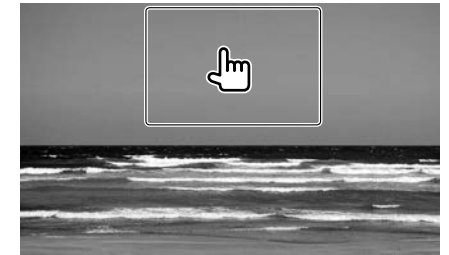
- ZOOM 再生画面を拡大します。(→ P.47)
- Aspect 画面モードを変更します。(→ P.46)
- PictureAdjust 画質を調整します。(→ P.45)
- MENU ディスクメニューを表示します。
- Audio 音声をST:ステレオ、L:左、R:右の順で切り替えます。
- Direct ダイレクト選択ボタンを表示します。
- Return ディスクメニュー画面に戻ります。

曲番号を指定して選曲する

曲番号を指定して曲を選びます。

1 [Direct]にタッチする

画面上部中央にタッチして、メニューコントロール画面を表示して[Direct]にタッチする。



2 [DIR/CLR]、[数字ボタン]、[Enter]の順にタッチして曲を選ぶ



曲番号を入れ間違えたときは、[DIR/CLR]にタッチします。

- PBC (プレーバックコントロール) 機能がオンのときは、[■]にタッチして再生を停止させてから選曲します。
- 選曲画面を消すときは、画面にタッチします。

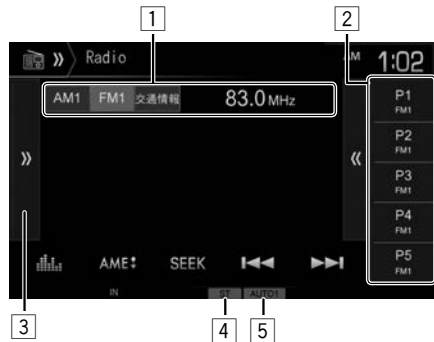
ラジオを聞く・操作する

ラジオ放送 (FM/AM/交通情報) を受信します。

□ ラジオに切り替える

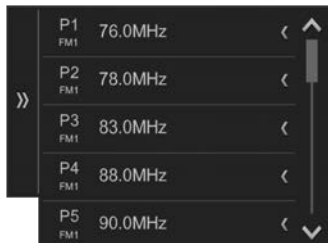
[HOME] ボタンを押して、ホーム画面または全ソース画面を表示させ、[Radio] にタッチする。

【ラジオ受信画面】



1 受信中のバンド、周波数表示、交通情報

2 プリセットボタン[P1]～[P5] [《》] にタッチするとプリセットリストを表示します。



[《》] にタッチするとプリセットリストを消します。

3 [《》] にタッチすると表示されていない操作ボタンを表示します。



[《》] にタッチすると操作ボタンを消します。

4 ステレオ表示

5 選局方法表示

操作ボタンのはたらき

| | |
|------------------|--|
| | イコライザー画面を表示します。 (→ P.48) |
| AME | 受信状態の良い放送局を、プリセットボタンに自動的に登録します (オートメモリー)。 (→ P.27) |
| SEEK | タッチするたびに放送局の選局方法を設定します。 AUTO1: 放送局を自動的に受信します。 AUTO2: 登録されている放送局を順番に受信します。 MANU: 1ステップずつ周波数が変わります。 |
| | [SEEK] ボタンで設定した選局方法で放送局を選局します。 |
| AM/FM | 受信するバンドを選択します。タッチするたびにAMバンド (1/2)、FMバンド (1/2) を切り替えます。 |
| 交通情報 | 交通情報を受信します。 |
| プリセットボタン (P1-P5) | よく聞く放送局を登録したり登録されている放送局を受信します。各バンドごとに5局、最大20局登録できます。 |
| MONO | FMステレオ放送をモノラルで受信します。受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに設定を "MONO" にすると、雑音が軽減されて聞きやすくなります。 |

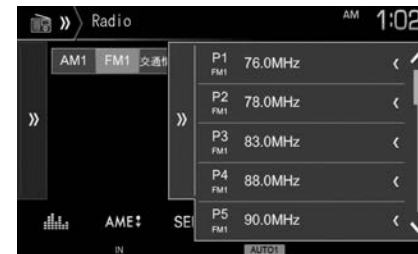
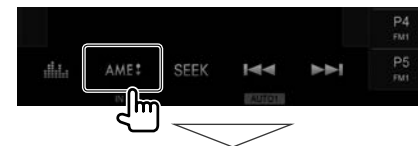
放送局を自動登録する (オートメモリー)

バンドごとに、5局の放送局を登録できます。オートメモリーとプリセットメモリーは、どちらか最後に登録したものが有効になります。

1 [AM] または [FM] にタッチして登録したいバンドを選択する



2 [AME] に約2秒以上タッチし続ける



受信状態の良い放送局が、プリセットボタンに自動的に最大5局登録されます。[《》] にタッチするとプリセットリストを表示します。

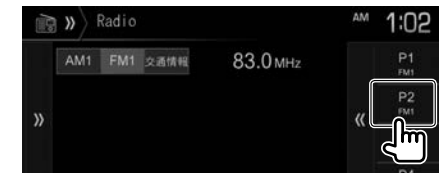
受信中の放送局を1つずつ登録する (プリセットメモリー)

よく聞くお好みの放送局を登録します。オートメモリーとプリセットメモリーは、どちらか最後に登録したものが有効になります。

1 お好みの放送局を受信する



2 登録するプリセットボタンに約2秒以上タッチし続ける



受信中の放送局が選んだプリセットボタンに登録されます。[《》] にタッチするとプリセットリストを表示します。

登録した放送局を呼び出す

プリセットボタンにタッチして登録した放送局を呼び出します。プリセットリストを表示するとバンド切り替えに関係無くお好みの放送局を受信します。

- 1 プリセットボタン[P1]ー[P5]にタッチして登録した放送局を呼び出す
または、[⏪]にタッチしてプリセットリストを表示する



- 2 聞きたい放送局が登録されているプリセットボタンにタッチする



[▲]/[▼]にタッチするとバンド毎のプリセットリストを切り替えます。



選んだ放送局を受信します。

交通情報を受信する

交通情報を受信します。

- 1 [交通情報]にタッチする



- 2 受信周波数を切り替える

[1620kHz]または[1629kHz]に切り替わります。



USB

ファイルを再生する

USB機器をUSB端子に接続します。接続すると自動で再生します。

□USBに切り替える

[HOME]ボタンを押して、ホーム画面または全ソース画面を表示させ、[USB]にタッチする。

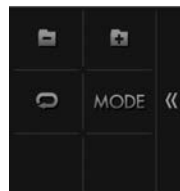
→ USB機器を取り外すときは...
USB機器を取り外す。

オーディオファイルの再生

【オーディオファイル再生画面】



- 1 アルバムアート画像
- 2 曲名/アーティスト名/アルバム名表示 (テキスト情報が入っていると表示します。) 表示するテキスト情報が多い場合は[<]にタッチするとスクロール表示します。
- 3 [⏪]にタッチすると表示されていない操作ボタンを表示します。



[⏪]にタッチすると操作ボタンを消します。

- 4 演奏時間
- 5 再生状態表示

- 6 リピート/ランダム再生表示
- 7 ファイルの種類表示
- 8 フォルダ番号
- 9 ファイル番号

操作ボタンのはたらき

| | |
|-----------------------|--|
| | イコライザー画面を表示します。 (→ P.48) |
| | 再生リストを表示します。再生するファイルを選択できます。(→ P.32) |
| | 前または次のファイルを再生します。タッチし続けると、早送りまたは早戻しします。 |
| | 再生または一時停止 (ポーズ) します。 |
| | タッチするたびにフォルダ(FO-RDM)/全ファイル(RDM)/オフを切り替えます。オンのときには、フォルダ内または全ファイルが順不同に再生されます。 |
| ファイルタイプ | 再生するファイルの種類に応じてファイルタイプを選択します。 |
| Audio / Video / Photo | Audio: 音楽ファイルを再生します。 Video: 映像ファイルを再生します。 Photo: 静止画像ファイルを再生します。 |
| | 前のフォルダの先頭のファイルから再生します。 |
| | 次のフォルダの先頭のファイルから再生します。 |
| | タッチするたびに1ファイル(REP)/フォルダ(FO-REP)/オフを切り替えます。オンのときには、現在のファイルまたはフォルダ内のファイルが繰り返し再生されます。 |
| MODE | 再生したいファイルの種類や外部接続するモニタータイプ、USB機器のドライブ切り替えを設定します。 (→ P.31) |

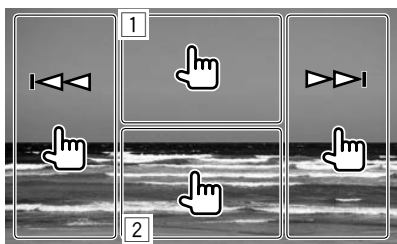
- ランダム再生、リピート再生がオンのときには、再生の状態を表示します。
- ランダム再生、リピート再生は同時に選択できません。
- アルバムアート画像は、情報があるときに表示されます。

ビデオ/ピクチャファイルの再生

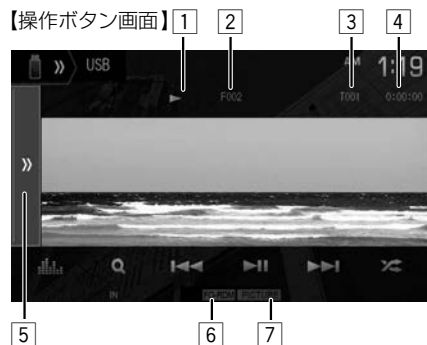
【ビデオ/ピクチャファイル再生画面】



【ビデオ/ピクチャファイル再生画面(スキップ)】

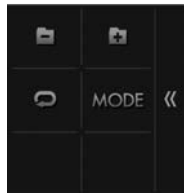


- 1 画面上部中央にタッチすると、メニューコントロール画面が表示されます。(→ P.44)
- 2 画面下部中央にタッチすると、操作ボタンが表示されます。



- 1 再生状態表示
- 2 フォルダ番号
- 3 ファイル番号
- 4 演奏時間

- 5 [≡] にタッチすると表示されていない操作ボタンを表示します。



[≡] にタッチすると操作ボタンを消します。

- 6 リpeat/ランダム再生表示
- 7 ファイルの種類表示

操作ボタンのはたらき

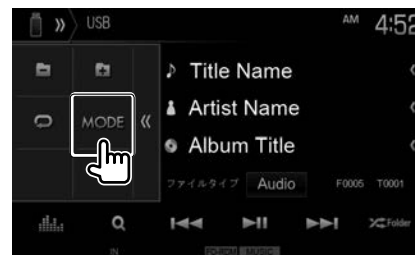
- イコライザー画面を表示します。(→ P.48)
- 再生リストを表示します。再生するファイルを選択できます。(→ P.32)
- 前または次のファイルを再生します。ビデオファイルのときは、タッチし続けると、早送りまたは早戻しします。
- 再生または一時停止(ポーズ)します。
- タッチするたびにフォルダ(FO-RDM)/全ファイル(RDM)/オフを切り替えます。オンのときには、フォルダ内または全ファイルが順不同に再生されます。
- 前のフォルダの先頭のファイルから再生します。
- 次のフォルダの先頭のファイルから再生します。
- タッチするたびに1ファイル(REP)/フォルダ(FO-REP)/オフを切り替えます。オンのときには、現在のファイルまたはフォルダ内のファイルが繰り返し再生されます。
- 再生したいファイルの種類や外部接続するモニタータイプ、USB機器のドライブ切り替えを設定します。(→ P.31)

- ランダム再生、リピート再生がオンのときには、再生の状態を表示します。
- ランダム再生、リピート再生は同時に選択できません。
- 走行中は、ビデオ/ピクチャファイルの映像は映りません。

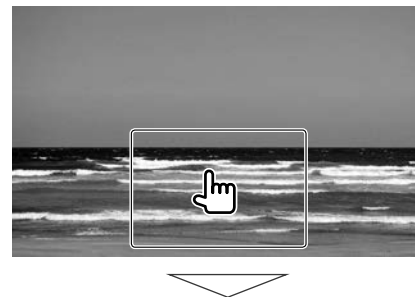
設定を変更する

再生したいファイルの種類や外部接続するモニタータイプ、USB機器のドライブ切り替えを設定します。

1 [MODE]にタッチする



ビデオやピクチャファイルを再生しているときは、画面下部中央にタッチして操作ボタンを表示させて、[MODE]にタッチします。



2 各項目を設定する



3 [←]にタッチして終了する

設定項目

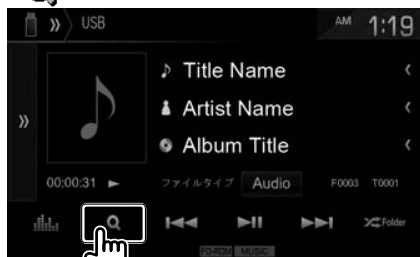
- 映像出力端子に接続した外部モニターのモニタータイプを設定をします。(→ P.23)
16:9*/4:3LB/4:3PS
- スマートフォンなどをUSBマストレージ接続したときに、内蔵メモリまたは外部メモリ(SDカードなど)を[Next]にタッチして選択します。

*お買い上げ時の設定

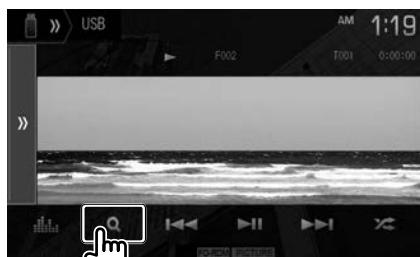
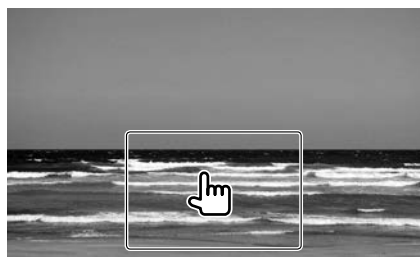
再生するファイルをリストで 選択する

再生するファイルを選択します。

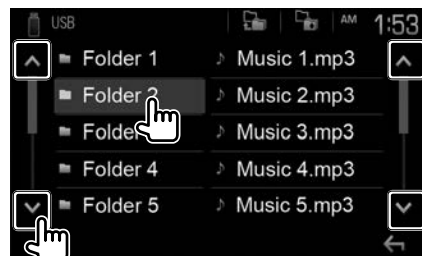
1 [Q] にタッチする



ビデオやピクチャファイルを再生しているときは、画面下部中央にタッチして操作ボタンを表示させて、[Q]にタッチします。

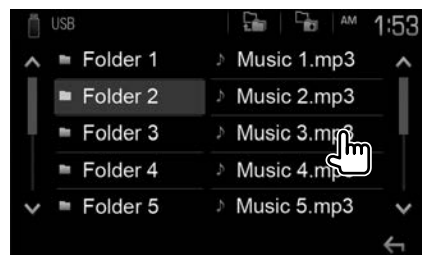


2 フォルダを選んでタッチする



[^]/[v]にタッチするとリストを移動します。ファイルのリストが表示されるまで繰り返します。

3 再生するファイルを選んでタッチする



選択したファイルが再生されます。

- ・リストに表示されるファイルは「設定を変更する」のファイルタイプで選択した種類のファイルが表示されます。(→ P.31)
- ・選んだフォルダの下位にさらにファイルがあるときは、▶が表示されます。
- ・[⏪]にタッチすると最上位階層へ[⏩]にタッチするとリストの1階層上に戻れます。

iPod/iPhone

iPod/iPhoneを接続する

iPod/iPhoneの接続方法は、iPod接続ケーブルでの接続とBluetooth接続があります。

□ iPod接続ケーブルについて

iPod/iPhoneに付属しているケーブルで接続します。本機でコントロールできるiPod/iPhoneについては「iPod/iPhoneについて」をご覧ください。(→ P.79)

・ iPod/iPhoneに付属のケーブルは車内に放置しないでください。直射日光や高温で変形や故障の原因になります。

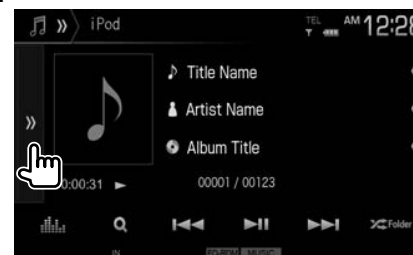
□ Bluetooth接続について

iPod/iPhoneをBluetooth経由でペアリングします。(→ P.62)

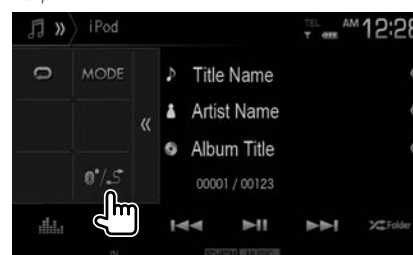
□ iPod/iPhoneの接続方法を設定する

1 [HOME] ボタンを押して、ホーム画面または全ソース画面を表示させ、[iPod]にタッチする

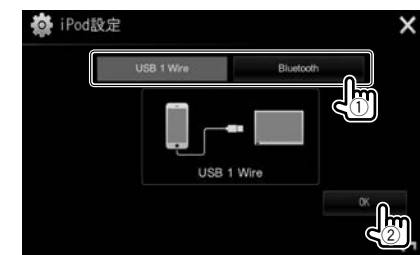
2 [⏮] にタッチする



3 [0/5] (iPod設定) にタッチする



4 接続方法(①)を選び、[OK]または[NEXT] (②)にタッチする



設定項目

USB 1 Wire* iPod接続ケーブルを選択します。

Bluetooth Bluetooth接続を選択します。

*お買い上げ時の設定

Bluetoothを選択した場合

1 接続したい機器(①)を選び、[OK] (②)にタッチする



iPod/iPhoneを再生する

□ iPod/iPhoneに切り替える

[HOME] ボタンを押して、ホーム画面または全ソース画面を表示させ、[iPod]にタッチする。

本機は音楽再生のみ対応しています。

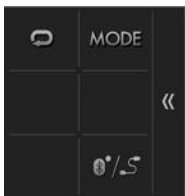
→ iPod/iPhoneを取り外すときは...

iPod/iPhoneをiPod接続ケーブルから取り外す。

【iPod再生画面】



- 1 アルバムアート画像
- 2 曲名/アーティスト名/アルバム名表示(テキスト情報が入っていると表示します。)表示するテキスト情報が多い場合は[<]にタッチするとスクロール表示します。
- 3 [⏮]にタッチすると表示されていない操作ボタンを表示します。



[⏮]にタッチすると操作ボタンを消します。

- 4 演奏時間
- 5 再生状態表示
- 6 リpeat/ランダム再生表示
- 7 ファイルの種類表示
- 8 曲番号/全曲数

操作ボタンのはたらき

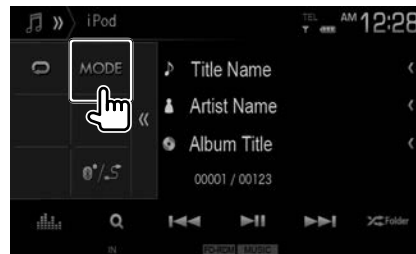
| | |
|------|---|
| | イコライザー画面を表示します。 (→ P.48) |
| | 再生リストを表示します。再生する曲をカテゴリーで選択できます。 (→ P.35) |
| | 前または次のファイルを再生します。タッチし続けると、早戻しまたは早送りします。 |
| | 再生または一時停止(ポーズ)します。 |
| | タッチするたびに全ファイル(RDM)/アルバム(A-RDM)/オフを切り替えます。オン有的时候には、選ばれた全ファイルまたはアルバムのファイルが順不同に再生されます。 |
| | タッチするたびに1ファイル(REP)/全ファイル(ALL REP) /オフを切り替えます。オン有的时候には、1ファイルまたは全ファイルが繰り返し再生されます。 |
| MODE | アルバムアート画像を設定します。 (→ P.35) |
| | iPodの接続方法を設定します。 (→ P.33) |

・ランダム再生、リピート再生がオン有的时候には、再生の状態を表示します。
・ランダム再生、リピート再生は同時に選択できません。
・アルバムアート画像は、情報があるときに表示されます。

設定を変更する

アルバムアート画像の設定をします。

1 [MODE]にタッチする



2 各項目を設定する



3 [←]にタッチして終了する

設定項目

| | |
|--------|------------------|
| アートワーク | アルバムアート画像を表示します。 |
| | ON*/OFF |

*お買い上げ時の設定

再生するファイルを一覧で選択する

再生するファイルを選択します。

1 [Q]にタッチする



2 カテゴリー、または再生する曲を選んでタッチする



[▲]/[▼]にタッチするとリストを移動します。ファイルのリストが表示されるまで繰り返しします。選択したファイルが再生されます。

・[🏠]にタッチすると最上位階層へ [🏠]にタッチするとリストの1階層上に戻れます。

Android

Androidを再生する

Androidスマートフォンに付属のUSB接続ケーブルを使ってUSB端子に接続します。
本機に接続できるAndroidについては「Androidについて」をご覧ください。(→ P.79)

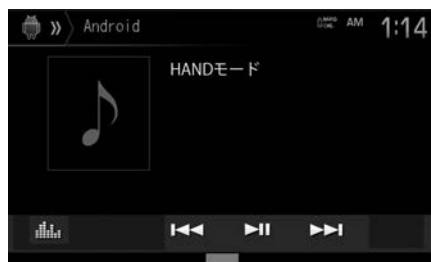
□ Androidに切り替える

[HOME] ボタンを押して、ホーム画面または全ソース画面を表示させ、[Android]にタッチする。

→ Androidを取り外すときは...

Androidスマートフォンを接続ケーブルから取り外す。

【Android再生画面】



操作ボタンのはたらき



イコライザー画面を表示します。
(→ P.48)



前または次のファイルを再生します。
タッチし続けると、早戻しまたは早送りします。



再生または一時停止(ポーズ)します。



・接続する機器によっては正しく再生できないことがあります。

ドライブレコーダーを使う

本機に別売の**ダイハツ純正**ドライブレコーダーを接続すると、ドライブレコーダーの映像やドライブレコーダーのメニューなどを見ることができます。
操作についてはドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

□ ドライブレコーダーの映像を表示する

[HOME] ボタンを押して、ホーム画面または全ソース画面を表示させ、[DRV-IN]にタッチする。



・ドライブレコーダーの音声は本機から出力されません。

使用上のご注意

- 本機で対応しているバックモニター（一部の車両のみ装着）は、**ダイハツ純正**バックモニター、**ダイハツ純正**3モードカメラ、**ダイハツ純正**パノラマモニターです。
- モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。
- バックモニター機能は、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 画質、ガイド線を設定するときは、必ず安全なところに停車してから操作してください。
- ガイド線を設定するときは、必ず安全で迷惑のかからない場所に停車してから操作してください。
- ガイド線の横幅を駐車線に合わせて設定した場合は、実際に表示されるガイド線は自車の幅ではありません。駐車場のスペースは場所によって異なります。駐車するときは実際の大きさをよくご確認ください。
- 表示される操作ボタンは、5秒間操作がないときは消えます。もう一度タッチするとボタンが表示されます。
- 説明に使用しているカメラ画面はイメージです。

ダイハツ純正バックモニターを使う

ダイハツ純正バックモニターを設定する

ダイハツ純正バックモニター（を接続しているときに設定します）。

1 [HOME] ボタンを押して、ホーム画面を表示させ[設定]にタッチする

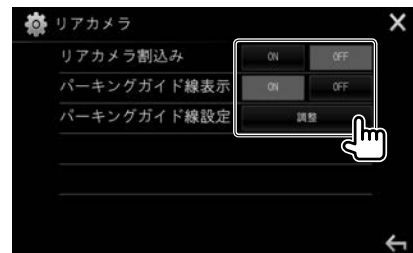
2 [入力]にタッチする



3 [リアカメラ]にタッチする



4 各項目を設定する



5 [X]または[←]にタッチして終了する

設定項目

| | |
|---|--|
| 別売の ダイハツ純正 バックモニターを接続したときは「ON」にしてください。 | |
| リアカメラ割込み | 車両のギアをリバース(R)に入れたときに、リアカメラの映像に自動的に切り替ります。 ON/OFF* |
| パーキングガイド線表示 | ガイド線を表示します。 ON/OFF* |
| パーキングガイド線設定 | ガイド線を調整します。 |

*お買い上げ時の設定

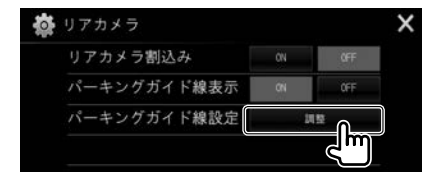
ダイハツ純正バックモニターのガイド線を調整する

バックモニター映像に表示されるガイド線の位置を調整します。車を駐車スペースに停めてパーキングブレーキを引き、車を停止させて周囲の安全を確認してから行ってください。

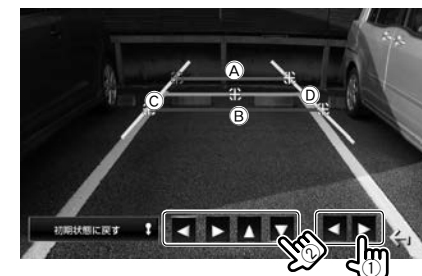
1 パーキングガイド線表示の[ON]にタッチする



2 パーキングガイド線設定の[調整]にタッチする



3 左右ボタン[①]にタッチして、調整するカーソル②を選択し、上下左右ボタン[②]にタッチしてガイド線を調整する



①と②が水平方向で平行に、③と④が同じような位置となるように調整します。
[初期状態に戻す]に約2秒以上タッチするとガイド線の位置を初期状態に戻します。

4 [←]にタッチして終了する

□ **ダイハツ純正バックモニターの映像を表示する**

バックモニターの映像で後方確認をしてから車を後退させることができます。

- 1 シフトレバーを“R”（リバース）にする



[目安線]：
目安線を消します。もう一度タッチすると表示します。

ダイハツ純正3モードカメラを使う

□ **ダイハツ純正3モードカメラを設定する**

ガイド線の表示/非表示とカメラ映像の表示方法（ビュー）の設定を行います。

- 1 [HOME] ボタンを押して、ホーム画面を表示させ[設定] にタッチする

- 2 [入力] にタッチする



- 3 [3モードカメラ] にタッチする



- 4 [調整] にタッチする



「リアカメラ読み込み」と「パーキングガイド線表示」の設定は変更できません。

□ **ダイハツ純正3モードカメラの映像を表示する**

- 1 シフトレバーを“R”（リバース）にする



モニター映像にタッチすると、操作ボタンが表示されます。



①、②については左記をご覧ください。

- 5 表示方法を設定する



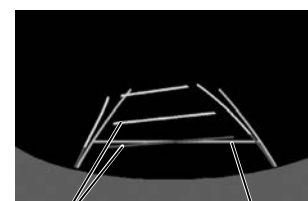
- 6 [X] または [←] にタッチして終了する

設定項目

- ① **ガイド線の表示/非表示を設定する**

[ガイド線(固定)]：
ガイド線(固定)を表示します。もう一度タッチすると非表示になります。

[ガイド線(予測)]：
ガイド線(予測)を表示します。もう一度タッチすると非表示になります。
ガイド線(予測)は、ハンドル操作に連動した車の進行軌跡を示します。



ガイド線(予測) 赤/黄 ガイド線(固定) 緑

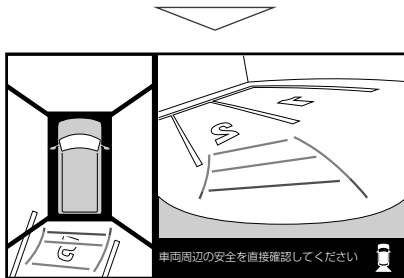
- ② **表示方法(ビュー)を設定する**

[ノーマル] [トップ] [ワイド]：
画面の表示方法を切り替えます。

ダイハツ純正パノラマモニターを使う

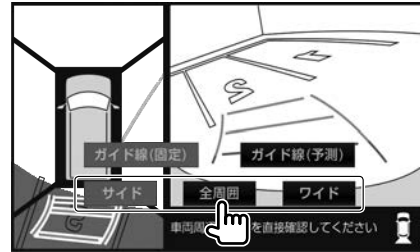
□ 後方の映像を表示する

- 1 シフトレバーを“R”（リバース）にする



□ 表示を切り替える

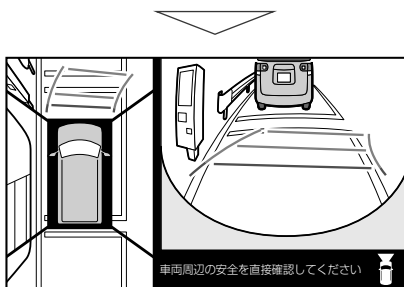
- 1 パノラマモニターの画面を表示させ、画面にタッチする
- 2 表示方法を設定する



【サイド】【全周囲】【ワイド】：
画面の表示方法を切り替えます。

□ 前方の映像を表示する

- 1 時速約10km以下に減速して、**MENU**ボタンを1秒以上押す



□ ガイド線を切り替える

- 1 パノラマモニターの画面を表示させ、画面にタッチする
- 2 ガイド線の表示/非表示を設定する



【ガイド線(固定)】：
ガイド線(固定)を表示します。もう一度タッチすると非表示になります。

【ガイド線(予測)】：
ガイド線(予測)を表示します。もう一度タッチすると非表示になります。
ガイド線(予測)は、ハンドル操作に連動した車の進行軌跡を示します。



- ・車のシフトレバーを“R”（リバース）にしないと、後方の映像は表示されません。
- ・前方の映像（全周囲、ワイド）を表示中に時速約10km以上で走行すると、前方の映像が終了し元の画面に戻ります。
- ・前方の映像を表示させたまま約3分間何も操作しないと、切り替える前の画面に戻ります。
- ・時速約10km以上で走行中に**MENU**ボタンを1秒以上押すと、サイドの映像に切り替わります。

メニューコントロールを設定する

映像ソースの画質や画面モード、画像ズームを設定します。

1 DVD、USBなどの映像を再生する

2 画面上部中央にタッチする



3 各項目を設定する

(画面例：DVD)



(画面例：USB)



4 [←] にタッチして終了する

設定項目

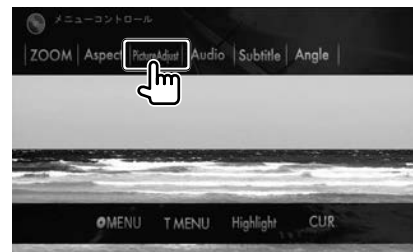
| | |
|----------------|-------------------------------|
| Picture Adjust | 映像ソースの画質を調整します。 (→ P.45) |
| Aspect | 画面モードを設定します。(→ P.46) |
| ZOOM | 再生している映像を拡大表示します。 (→ P.47) |

映像ソースの画質を調整する

映像ソースの画質を調整します。車両のライトスイッチなどがオン(ディマーオン)と、オフ(ディマーオフ)のときで別々に設定できます。

1 [Picture Adjust]にタッチする

(画面例：DVD)



(画面例：USB)



2 [DIM ON]または[DIM OFF]にタッチしてから [+] または [-] にタッチして、各項目を調整する



[DIM ON] ディマーオン時の設定をします。
[DIM OFF] ディマーオフ時の設定をします。

3 [←] にタッチして終了する

調整項目

| | |
|--------|---|
| 明るさ | 明るさを調整します。 + 明るくなります。 - 暗くなります。 |
| コントラスト | コントラストを調整します。 + コントラストが強くなります。 - コントラストが弱くなります。 |
| 色の濃さ | 色の濃さを調整します。 + 明るくなります。 - 暗くなります。 |
| 色 | 色を調整します。 + 濃くなります。 - 淡くなります。 |
| 色合い | 色合いを調整します。 + 緑が強くなります。 - 赤が強くなります。 |
| シャープネス | 鮮明度を調整します。 + 鮮明度強くなります。 - 鮮明度が弱くなります。 |



・映像ソースによっては、調整できない項目があります。

画面モードを設定する

再生する映像の画面モードを設定します。

1 [Aspect]にタッチする

(画面例：DVD)



(画面例：USB)



2 [アスペクト]にタッチして、画面モードを選択する



フル/ジャスト/ノーマル/オートの中から選びます。

3 [←]にタッチして終了する



・オートはソースがUSBまたはディスクのとき選択できます。

画面モードは、再生する映像のアスペクト比(縦横比)で変化します。再生する映像に合わせて選択します。

画像モード 4:3の映像のとき 16:9の映像のとき

| | | |
|------|---------------------------------|--|
| フル | | |
| ジャスト | | |
| ノーマル | | |
| オート | 再生する映像を検出して自動的に最適な画面モードに切り替えます。 | |



フル:

4:3の映像の左右だけを拡大します。映像がかかることなくワイド画面が表示されます。

ジャスト:

画面の両端に近づくほど、横方向に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感無く楽しめます。

ノーマル:

4:3の映像をそのまま表示します。

ズームで画面を拡大する

再生している映像の画面を拡大表示します。

1 [ZOOM]にタッチする

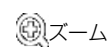
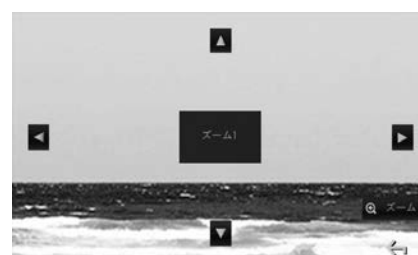
(画面例：DVD)



(画面例：USB)



2 [ズーム]にタッチして、ズームモードを選択する



ズーム タッチするたびにズーム倍率(ズーム1/2/3/フル)が変わります。



ズームした画像をタッチした方向に移動します。

3 [←]にタッチして終了する

オーディオ設定をする

車内の音響効果や音質を調整します。オーディオ設定は、ソースを選択して音が出ているときに行ってください。

1 [HOME] ボタンを押して、ホーム画面を表示させ [設定] にタッチする

2 [オーディオ] にタッチする



3 各項目を設定する



[↑][↓] にタッチするとリストを移動します。

4 [X] または [←] にタッチして終了する

設定項目 (オーディオ)

| | |
|-----------|--------------------------------|
| イコライザー | 音質を設定します。(右記) |
| サウンドエフェクト | ドライブEQなどの音響効果を設定します。(→ P.50) |
| フェダー/バランス | 前後/左右の音量バランスを設定します。(→ P.51) |
| スピーカー | 車両の種類や接続するスピーカーを設定します。(→ P.52) |

タイムアライメント 音楽を聞く座席に合わせてより良い音場になるように詳細に設定します。(→ P.53)

ソースレベル 各ソースの音量を、CDの音量を基準にそろえます。(→ P.54)

*お買い上げ時の設定

・ [セットアップメモリ] で "ロック" を選択すると [] 鍵マークの表示されている設定の項目が変更できなくなります。(→ P.60)

プリセットイコライザーを設定する

音楽のジャンルに合わせて、プリセットイコライザーを設定します。

1 [イコライザー] にタッチする



2 [←]/[→] にタッチしてプリセットイコライザーのジャンルを選ぶ



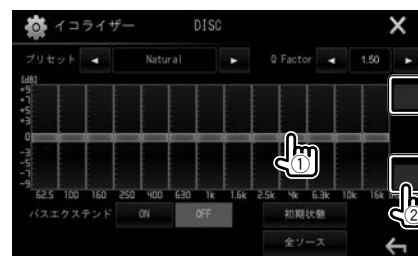
3 [X] または [←] にタッチして終了する

・ プリセットイコライザーはソースごとに設定できます。

ユーザーイコライザーを設定する

ユーザー独自のイコライザーカーブ (ユーザー) を設定することもできます。設定するとプリセットイコライザーのユーザーに登録されます。

1 調整したい周波数 [①] を選んでタッチし、[▲]/[▼] にタッチ [②] してレベルを設定する



設定したイコライザーカーブがユーザーに登録されます。

2 各項目を設定する



[全ソース] にタッチすると、全てのソースに同じイコライザーが設定されます。

[初期状態] にタッチすると、設定したイコライザーをクリアします。

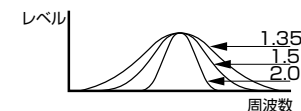
3 [X] または [←] にタッチして終了する

設定項目

| | |
|----------|--|
| イコライザー | ジャンルに合わせてイコライザーを設定します。 Natural*/Rock/Pops/Easy/Top40/Jazz/Powerful/ユーザー |
| Q Factor | クオリティファクターを設定します。 1.35/1.50*/2.00 |
| バスエクステンド | バスエクステンドを設定します。 OFF*/ON |

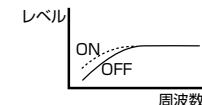
*お買い上げ時の設定

・ Q (クオリティファクター) イコライザーの調節スロープを設定する機能です。設定値が大きくなるほどスロープの傾斜が大きくなります。



・バスエクステンド

この機能をONに設定すると、低音中心周波数が低域側に伸びた状態になります。



・ ユーザーイコライザーは、ソースごとに設定できます。

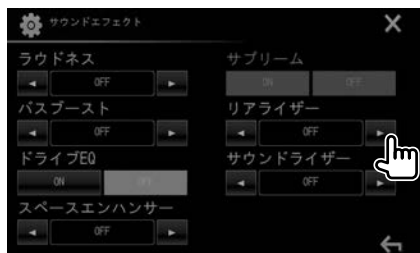
音響効果を設定する

ドライブ EQなどの音響効果を設定します。

1 [サウンドエフェクト]にタッチする



2 各項目を設定する



[◀]/[▶]にタッチして設定します。

3 [X]または[↶]にタッチして終了する

| 設定項目 | |
|--------------|--|
| ラウドネス | 小さな音量で音楽を聞くときに不足しがちな低域と高域の音量を補正します。 OFF*/Low/High |
| バスブースト | 低域の音量を補正します。 OFF*/Level 1/Level 2/Level 3/Level 4/Level 5 |
| ドライブEQ | ロードノイズからの影響が軽減される音質を設定します。 OFF*/ON |
| スペースエンハンサー*1 | 実際の車室よりも広い仮想空間を作り出します。仮想空間の広さを設定します。 OFF*/Small/Medium/Large |
| サブプリーム*1/*2 | 圧縮オーディオで失われた高音域成分を補完してリアリティーのあるサウンドを再現します。 OFF/ON* |
| リアライザー | ぼやけた音をはっきりさせて、よりリアリティ感のある音にします。 OFF*/Level 1/Level 2/Level 3 |
| サウンドライザー | 実際のスピーカーの位置よりも高い位置から音が聞こえるような音響効果を作り出します。仮想スピーカーの位置(高さ)を設定します。 OFF*/Low/Middle/High |

*お買い上げ時の設定



- *1 ソースがラジオのときは設定できません。
- *2 ソースがDISC/USB/iPod/Androidの時に効果があります。

フェダー/バランスを設定する

前後および左右の音量バランスを調整します。

1 [フェダー/バランス]にタッチする



2 フェダー/バランスを合わせる位置にタッチする



[▲]/[▼]にタッチして前後のバランスを[◀]/[▶]にタッチして左右のバランスを調整することもできます。
[センター]にタッチすると、前後/左右ともにバランスは中央になります。

3 [X]または[↶]にタッチして終了する

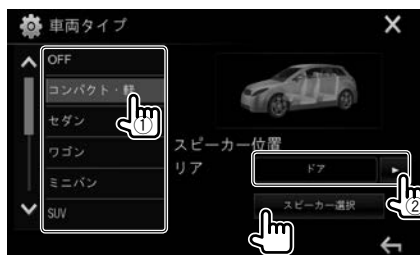
スピーカーを設定する

接続するスピーカーの設定をします。車両タイプやスピーカー取付位置などを設定します。

1 [スピーカー]にタッチする



2 車両タイプ[①]とリアスピーカー取り付け位置[②]を選んで[スピーカー選択]にタッチする



3 接続しているスピーカー[①]とスピーカーサイズ[②]を選んでスピーカーを設定する



4 [X]または[←]にタッチして終了する

設定項目

| | |
|--------------|---|
| 設定項目 | 車両タイプを設定します。 |
| 車両タイプ | OFF*/コンパクト・軽/セダン/ワゴン/ミニバン/SUV/ワンボックス |
| スピーカー位置(リア) | リアスピーカーの取付位置を設定します。 ドア/リアトレイ/2列目下/3列目下 |
| フロント/リアスピーカー | フロント/リアスピーカーの口径の大きさを設定します。 なし(リアスピーカーのみ)/ 8cm/ 10cm/ 12cm/ 13cm/ 16cm*/ 17cm/ 18cm/ 4x6/ 5x7/ 6x8/ 6x9/ 7x10 |

*お買い上げ時の設定

リスニングポジションを設定する

音楽を聞く座席に合わせてより良い音場になるように詳細設定します。

1 [タイムアライメント]にタッチする



2 設定したい座席を"オール"、"フロント右"、"フロント左"、"フロント"から選択する



3 各スピーカーの距離とレベルを設定する



[初期状態に戻す]にタッチすると設定値を初期状態に戻します。

4 [X]または[←]にタッチして終了する

設定項目

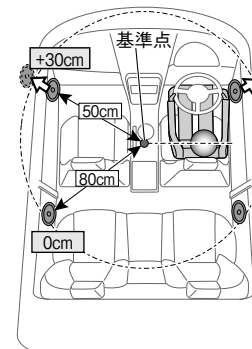
| | |
|------------|---|
| リスニングポジション | 音楽を聞く座席を指定します。 オール(全座席)*/フロント右/フロント左/フロント(フロント両座席) |
| 距離 | 基準点から距離を入力します。 0~610cm (2.0cmステップ) |
| レベル | スピーカーの音量を微調整します。 -8/-7/-6/-5/-4/-3/-2/-1/0 (dB) |

*お買い上げ時の設定

距離の設定は、車両中心部からの各スピーカーの距離を指定することにより、自動的に割り出されて補正されます。

- (1) 前後と高さをフロント座席に座った人の耳の位置で、左右を車室内の中央に基準点を設定します。
- (2) 基準点からスピーカーまでの距離を測ります。
- (3) 一番遠いスピーカーの距離に合わせて距離の差を計算します。

例：リスニングポジションを"オール"を選んだ場合



ソースの音量バランスをそろえる

各ソースの音量をCDの音量を基準にそろえるとソースを切り替えても、ほぼ同じ音量で聞くことができます。

1 [ソースレベル]にタッチする



2 現在聞いているソースの音量を調節する



[◀]/[▶]にタッチして音量を調節します。
[初期状態に戻す]にタッチするとソースレベルの調整を初期状態に戻します。

3 [X]または[←]にタッチして終了する

| 設定項目 | |
|--------|--|
| ソースレベル | 各ソースの音量を調節します。 (Radio/iPod/USB/DISC/ BT-Audio) |
| | -15 ~ 0* ~ 6 |

*お買い上げ時の設定

画面設定

画面を設定する

本機の画面の明るさや表示方法など、表示に関する項目を設定します。

1 [HOME] ボタンを押して、ホーム画面を表示させ [設定] にタッチする

2 [画面] にタッチする



3 各項目を設定する



[▲]/[▼]にタッチするとリストを移動します。

4 [X]または[←]にタッチして終了する

設定項目 (画面)

| | |
|------------|---|
| ディママー | 画面と照明の明るさを車両のライトスイッチに連動して減光します。ONに設定すると常時減光します。 オート*/ON/OFF |
| ユーザーカスタマイズ | 操作ボタンのイルミネーション色や画面の背景画像を変更します。 (→ P.56、P.57) |
| 映像中の時刻表示 | 映像表示画面に時計を表示します。 ON/OFF* |
| スクロール | ディスプレイに表示するファイル名などのテキスト文字を文字数が多いときにスクロール表示します。1回を設定すると1回だけスクロール表示します。 ON*/1回/OFF |
| HOMEカスタマイズ | ホーム画面のソースアイコンを好きな順番に並び替えることができます。 (→ P.58) |
| 画質調整 | 画面の明るさや画面の黒色のレベルを設定します。(→ P.58) |
| 映像出力方式 | ビデオ出力端子のビデオ方式を設定します。通常はNTSCの設定でお使いください。設定を変更したときはイグニッションキーをオフにしてオンにすると有効になります。 NTSC*/PAL |
| パネル角度調整 | 画面が見やすくなるようにパネルの角度を調整します。(→ P.14) |
| 視野角調整 | 0° *5° /10° /15° /20° |

*お買い上げ時の設定

イルミネーション色を設定する

ボタンのイルミネーションの色を設定します。

1 [画面]の[ユーザーカスタマイズ]にタッチする



2 [キーカラー設定]にタッチする



3 色のボタンにタッチする



スキャンにタッチすると、イルミネーション色は時間とともに変化します。

車両のイルミネーションに合わせた色を作るときは...

1 前項3で[ユーザー]にタッチして [編集]にタッチする



2 Red(赤)/Green(緑)/Blue(青)の [+] または [-] にタッチして、新しい色を作る



ボタンの発光色を見ながら色を設定します。ディマーオンとオフを別々にイルミネーション色を設定できます。

3 [X]または[←]にタッチして終了する

設定項目

| |
|--------------------------------------|
| イルミネーション色を作成します。 (Red/Green/Blue) |
| キーカラー |
| 0 ~ 31 |

*お買い上げ時の設定

背景画像を読み込み変更する

あらかじめ用意されている背景画像のほかに、好きな写真や映像を読み込んで、背景画像として設定します。

はじめに読み込む写真や映像を再生しておきます。

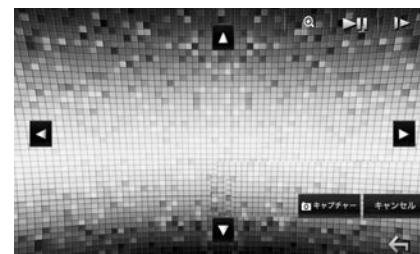
1 [画面]の[ユーザーカスタマイズ]にタッチする



2 [キャプチャー]にタッチする



3 画像を調整する



- ▶▶ プレイまたは一時停止します。
- ▶ 一時停止のときに映像をコマ送ります。
- 🔍 タッチするたびにズーム倍率(ズーム1/2/3/オフ)が変わります。
- ◀▶▶▶▶ ズームした画像をタッチした方向に移動します。
- キャンセル 読み込みを中止します。

4 [キャプチャー]にタッチする



読み込む前に「上書きしますか?」と表示されます。読み込むときは[はい]にタッチします。中止するときは[いいえ]にタッチします。

5 [X]または[←]にタッチして終了する

- 著作権保護の写真や映像、iPod/iPhoneの写真や映像は読み込めません。
- 登録できる背景画像は1枚です。
- 画像(JPEGファイル)のサイズは、800 x 480ピクセルを推奨します。...

読み込んだ背景画像に変えるときは...

1 前項2で [ユーザー]にタッチする



あらかじめ用意されている背景画像に変えるときは好きな画像にタッチします。

2 [X]または[←]にタッチして終了する

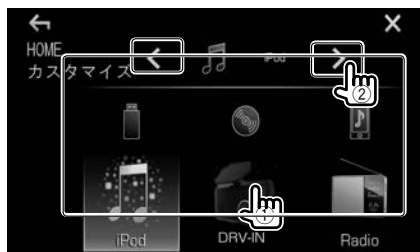
ソースアイコンを好きな順番に並べる

ホーム画面のソースアイコンを好きな順番に並び替えることができます。

1 [画面]の[HOMEカスタマイズ]にタッチする



2 変更するソースアイコン[①]にタッチしてから変更したいソース[②]を選択する



[<]/[>]にタッチしてソースアイコンを変更します。さらに変更したいときは同じ操作を繰り返します。

3 [X]または[←]にタッチして終了する

画面の明るさを調節する

画面の明るさや画面の黒色のレベルを設定します。車両のライトスイッチに連動するディマーオンとオフを別々に設定できます。

1 [画面]の[画質調整]にタッチする



2 DIM ONまたはDIM OFFにタッチしてから [+] または [-] にタッチして、各項目を調整する



DIM ON ディマーオン時の設定をします。

DIM OFF ディマーオフ時の設定をします。

3 [X]または[←]にタッチして終了する

調整項目

| | |
|------|--|
| 明るさ | 明るさを調整します。 + 明るくなります。 - 暗くなります。 |
| 色の濃さ | 色の濃さを調整します。 + 明るくなります。 - 暗くなります。 |

システム設定

システムを設定する

本機の時計やオーディオ設定の保存、呼び出しなど、システムに関する項目を設定します。

1 [HOME] ボタンを押して、ホーム画面を表示させ[設定]にタッチする

2 [システム]にタッチする



3 各項目を設定する



[↑]/[↓]にタッチするとリストを移動します。

4 [X]または[←]にタッチして終了する

設定項目(システム)

| | |
|--------------|-------------------------------------|
| 時刻設定 | 時計を調整します。(→ P.13) |
| Bluetooth設定 | Bluetoothの設定をします。(→ P.72) |
| 操作音 | 画面のボタンにタッチしたときに操作音を出します。 ON*/OFF |
| セットアップメモリ | 設定したオーディオ設定を保存または呼び出します。(→ P.60) |
| セキュリティーコード | セキュリティーコードを設定します。(→ P.61) |
| タッチパネル調整 | 画面にタッチして操作するときのタッチ位置を調整します。(→ P.61) |
| システム情報 | システム情報を表示します。 |
| オープンソースライセンス | オープンソースライセンス情報を表示します。 |

*お買い上げ時の設定

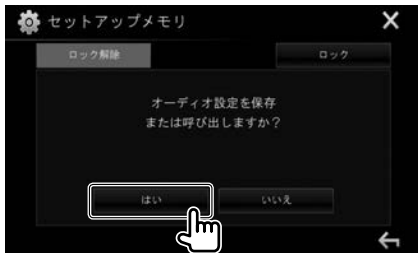
設定を保存する/呼び出す

オーディオ設定のスピーカー設定の設定状態を保存します。
保存した設定はいつでも呼び出すことができます。
本機をリセットしても保存した設定は消えません。

1 [システム]の[セットアップメモリ]にタッチする



2 設定を保存または呼び出すときは[はい]にタッチする



| | |
|-------|---|
| はい | 設定を保存または呼び出します。 |
| いいえ | 設定を中止して設定画面に戻ります。 |
| ロック | オーディオ設定をロックします。選択すると[🔒] 鍵マークの表示されている設定の項目が変更できなくなります。 |
| ロック解除 | ロックを解除します。 |

3 動作を選択する



| | |
|-------|-------------------|
| 呼び出し | 保存されている設定を呼び出します。 |
| 保存 | 現在の設定状態を保存します。 |
| クリア | 保存されている設定をクリアします。 |
| キャンセル | 設定を中止します。 |

4 保存または呼び出しを実行する

設定を保存するときは...



確認のメッセージが表示されます。
保存するときは[はい]、保存しないときは[いいえ]にタッチします。
設定を呼び出すときは...



確認のメッセージが表示されます。
呼び出すときは[はい]、呼び出さないときは[いいえ]にタッチします。

保存されている設定をクリアするときは...



確認のメッセージが表示されます。
クリアするときは[はい]、クリアしないときは[いいえ]にタッチします。

5 [X]または[←]にタッチして終了する

セキュリティコードを設定する

セキュリティコードを数字キーで設定します。
セキュリティコードを設定すると、本機の取り外し、車のバッテリー交換を行ったときと本機をリセット(→ P.6)したときに必要です。

1 [システム]の[セキュリティコード]にタッチする



2 4桁の数字を入力します



キャンセル 設定を中止します

3 [Enter]にタッチする



クリア 最後に入力した数字を消します。

Enter 入力したコードを確定します。

4 もう一度、同じ暗証番号を入力し、[Enter]にタッチする

タッチ位置を調整する

画面にタッチして操作するときのタッチ位置を調整します。

1 [システム]の[タッチパネル調整]にタッチする



2 ⊕にタッチする



①、②、③の順で⊕マークの中央にタッチします。

キャンセル 操作を中止します。

リセット 調整前の状態に戻します。

Bluetooth機器の使用にあたって



Bluetoothは、短い距離に置かれた携帯電話やポータブルパソコン等のモバイル機器を、無線でつなぐ技術です。Bluetooth機器は、ケーブルで接続することなく、通信することができます。

- ・ 運転中は、番号をダイヤルする、電話帳を使うといった複雑な操作をしないでください。これらの操作は、車を安全なところに止めてから行ってください。
- ・ Bluetooth機器のバージョンによっては、本機とBluetooth通信ができないことがあります。
- ・ Bluetooth機器によっては、本機と動作しないものがあります。
- ・ 通信品質は、接続する周辺環境によって変わります。
- ・ 機器によっては、本機の電源オフ時に、接続が解除されるものがあります。……

電話帳利用プロファイル(PBAP:フォーンブックアクセスプロファイル)対応の携帯電話について

お使いの携帯電話がPBAP対応の場合、本機と接続した際に以下の項目がタッチパネル上に表示されます。

- ・ 電話帳
- ・ 電話をかけた相手の番号、着信番号、取れなかった番号(最大10件まで)

ただし、PBAP対応の携帯電話を接続しても電話帳が表示されない携帯電話もあります。

Bluetooth機器の接続

□新しいBluetooth機器の登録

本機とBluetooth機器を初めて接続する場合は、ペアリングが必要です。ペアリング後、本機とBluetooth機器の接続が可能になります。

- ・ ペアリング方法は、Bluetoothのバージョンにより異なります。
 - Bluetooth2.1対応機器の場合：SSP(安全で簡単なペアリング)を使ってペアリングを行った後、確認を行います。
 - Bluetooth2.0対応機器の場合：ペアリング時に、本機とBluetooth機器の両方にPINコードを入力します。
- ・ 一度、接続を行うと、Bluetooth機器は本機に登録され、本機をリセットしても登録は抹消されません。本機には最大5台のBluetooth機器を登録することができます。
- ・ Bluetooth電話2台とBluetoothオーディオ機器1台が同時に接続できます。
- ・ Bluetooth機能を使用するには、ご使用の機器のBluetooth機能をオンにしてください。
- ・ 登録済みの機器を使用する際は、本機との接続を行ってください。(→ P.64)
- ・ 電話帳を使用する場合は、ペアリングするときに接続する携帯電話の連絡先や通話履歴のアクセスを許可する設定にしてください。許可しない場合は本機で電話帳などが使用できません。iPhoneの電話帳を本機で使用する場合は、ペアリングをした後に次の操作を行ってください。

1 iPhoneのBluetooth画面で本機を選び「連絡先を同期」をオンにする

2 手順1の設定画面で「接続解除」にタッチして本機との接続を一旦解除する

3 Bluetooth画面に戻りDPX-U7をタッチして本機と接続する**

転送後の電話帳の操作については68ページの「電話帳から電話をかける」をご覧ください。

オートペアリング

iPhoneまたはiPod touchは、オートペアリングをオンに設定(→ P.72)していると、本機とUSBケーブルで接続し、63ページの「SSP対応のBluetooth機器のペアリング(Bluetooth2.1)」手順2を操作するとペアリングできます。

SSP対応のBluetooth機器のペアリング(Bluetooth2.1)

Bluetooth機器がBluetooth2.1対応している場合、ペアリング要求が送られて来ます。

1 ご使用のBluetooth機器で、本機(“DUK-W69D”)を探す

2 本機とBluetooth機器の両方で、ペアリング要求を確認する



ペアリング要求を拒否する場合は、キャンセルを押してください。

PINコードを使用したBluetooth機器のペアリング(Bluetooth2.0)

1 [HOME] ボタンを押して、ホーム画面を表示させ[設定]にタッチする

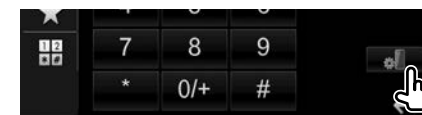
2 [システム]にタッチする



3 [Bluetooth設定]にタッチする



Bluetooth設定画面は、電話画面の[設定]を押しても表示することができます。(→ P.67)



4 [PINコード]にタッチする



5 PINコードを変更する

- PINコードを変更しない場合は、手順7に進んでください。
- PINコードの初期値は、0000です。
- PINコードは、15ケタまでの数字で設定します。



[クリア]にタッチすると、最後に入力した数字を消すことができます。

6 [Enter]にタッチする

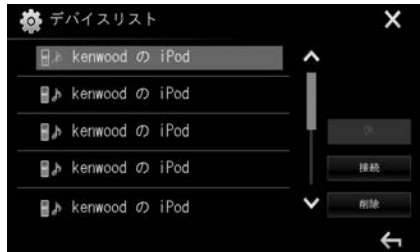


7 Bluetooth機器から本機 (“DUK-W69D”)を探す

8 Bluetooth機器で、本機 (“DUK-W69D”)を選ぶ

PINコードを要求された場合は、0000 (初期値)を入力します。

ペアリングが完了すると、デバイスリスト上に機器が記載されます。



ペアリング済の機器(デバイスリスト上に記載されている機器)を使用する場合は、本機と接続してください。(→ P.64)

登録済のBluetooth機器の接続と接続解除

2台の機器を同時に接続できません。

1 [システム]の[Bluetooth設定]にタッチする



2 [デバイスリスト]にタッチする



3 接続したい機器(①)を選び、[接続](②)にタッチする



4 機器を接続する場合は[ON]を、接続解除する場合は[OFF]を選び(①)、デバイスリスト画面を表示させる(②)



- 📱: 携帯電話
- 🎵: オーディオ機器

- 接続機器の接続状態が下記で表示されます。
 - 接続中
 - 接続しました
 - 接続可能
 - 切断中
 - 接続されていません

5 [OK]にタッチし、選んだ機器を接続する



Bluetooth携帯電話を接続し、本機にBluetooth携帯電話から情報が送られてきた場合、電波強度と電池レベルが表示されます。

登録したBluetooth機器を削除する場合

1 [システム]の[Bluetooth設定]にタッチする



2 [デバイスリスト]にタッチする



3 削除する機器(①)を選び、[削除](②)にタッチする



確認のメッセージが表示されたら、[はい]にタッチします。

ハンズフリーを使う

電話を受ける

呼び出し中画面で[]にタッチする



コール情報が表示される(情報を入手できた場合のみ)

着信拒否する場合

呼び出し中画面で[]にタッチする



着信の自動応答がオンの場合
(→ P.72)

本機は掛かってきた電話に自動的に応答します。



画面に別売のバックモニターまたはパノラマモニターからの映像が映し出されている間は、電話の機能は使用できません。(→ P.40)

電話を切る

通話中の画面で[]にタッチする



通話、受話器、マイクの音量調整

通話中の画面でMIC LEVELの[+]または[-]にタッチする



-10から10の間で音量調整ができます。
(初期値: 0)



モニターパネルを使って通話、受話器の音量を調整する。(→ P.12)

ハンズフリーモードと電話モードの切り替え

通話中の画面で[]にタッチする



ボタンを押すたびに、通話方法が切り替わります。

ノイズリダクション、エコーキャンセレーションレベルの調整

通話中の画面で[+]または[-]にタッチして、各項目を調整する



調整項目

NR LEVEL ノイズリダクション
(-5から5、初期値:0)

EC LEVEL エコーキャンセレーションレベル
(-5から5、初期値:0)

トーン信号を送る

通話中にトーン信号を送信します。

1 通話中の画面で[10キー]にタッチする

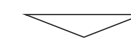


2 送信するボタンにタッチする



電話画面を表示する

1 [HOME] ボタンを押して、ホーム画面または全ソース画面を表示させ、[TEL] にタッチする



2 発信方法を選択する



- 1 PBAP 対応機器の場合は発信、着信、不在着信履歴を表示します*
- 2 電話帳を表示します*
- 3 プリセットダイヤルに登録された番号に発信します(→ P.69)
- 4 電話番号を入力します



[]にタッチするとBluetooth設定画面が表示されます。(→ P.72)

* 携帯電話またはスマートフォンがPBAP対応機器の場合に選択できます。

• [2][]は、PBAP対応機器の携帯電話でも携帯電話によっては機能が使用できません。

□ 電話をかける電話機を選ぶ

携帯電話またはスマートフォンを2台接続している場合に、発信に使用する電話機を選択します。

- 1 [HOME] ボタンを押して、ホーム画面または全ソース画面を表示させ、[TEL] にタッチする

- 2 [1] または [2] にタッチする



選択した電話機名がハイライト表示します。

□ 履歴から電話をかける

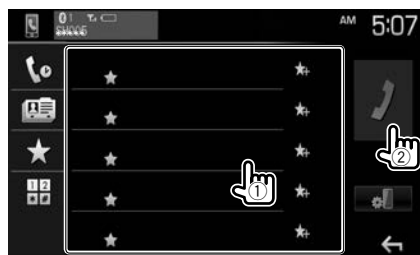
PBAP 対応機器の場合は不在着信、着信、発信履歴から発信することができます。PBAP に対応していない機器は使用できません。

- 1 [HOME] ボタンを押して、ホーム画面または全ソース画面を表示させ、[TEL] にタッチする

- 2 [☎] にタッチする



- 3 発信する履歴(①)にタッチして、[↕] (②) にタッチする



[▲]/[▼] にタッチするとリストを移動します。

□ 電話帳から電話をかける

PBAP 対応機器の場合は電話帳から電話番号を選んで発信します。PBAP に対応していない機器は使用できません。

- 1 [HOME] ボタンを押して、ホーム画面または全ソース画面を表示させ、[TEL] にタッチする

- 2 [☎] にタッチする



- 3 [Q] にタッチする



- 4 発信先の頭文字をひらがなで選択する



- 5 発信する相手(①)にタッチして、[↕] (②) にタッチする



[▲]/[▼] にタッチするとリストを移動します。

- 電話帳の検索結果リストは、接続する機器によっては、正しいリスト順に表示しないことがあります。

→ ほかの電話番号を表示する

いくつかの電話番号が同じ連絡先に登録されている場合は、電話番号を切り替えることができます。1つの連絡先に最大10個の電話番号が表示できます。

- 1 [>] にタッチする



- 2 電話番号にタッチする



□ プリセットダイヤルから電話をかける

プリセットダイヤルに登録された電話番号に発信します。あらかじめプリセットダイヤルに電話番号を登録しておく必要があります。(→ P.70)

- 1 [HOME] ボタンを押して、ホーム画面または全ソース画面を表示させ、[TEL] にタッチする

- 2 [★] にタッチする



- 3 発信するダイヤル(①)にタッチして、[↕] (②) にタッチする



□ダイヤルして電話をかける

1 [HOME] ボタンを押して、ホーム画面または全ソース画面を表示させ、[TEL] にタッチする

2 [☰] にタッチする



3 電話番号を入力して(①)、[↵] (②) にタッチする



31桁まで入力できます。

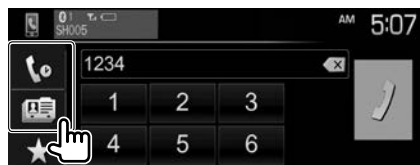
- [✕] にタッチすると、最後に入力した数字を消すことができます。
- [0/+] をタッチし続けると、電話番号に "+" と入力します。

□プリセットダイヤルに電話番号を登録する

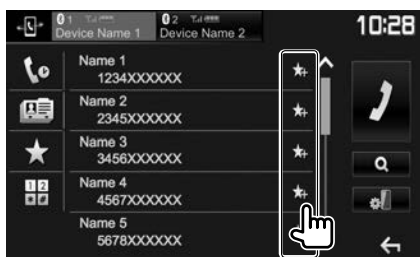
プリセットダイヤルに登録できる電話番号は5件までです。

1 [HOME] ボタンを押して、ホーム画面または全ソース画面を表示させ、[TEL] にタッチする

2 [☰] または [☎] にタッチする



3 登録する電話番号にタッチする



プリセットリスト画面が表示されます。

4 登録する場所を約2秒以上タッチし続ける



Bluetoothオーディオ機器を再生する

- Bluetooth機器の登録が必要です。(→ P.62)
- Bluetooth機器の接続と接続解除については64ページをご覧ください。

□Bluetoothオーディオに切り替える

[HOME] ボタンを押して、ホーム画面または全ソース画面を表示させ、[BT Audio] にタッチする。

【Bluetoothオーディオ再生画面】



- 1 曲名/アーティスト名/アルバム名表示(テキスト情報が入っていると表示します。) 表示するテキスト情報が多い場合は[<] にタッチするとスクロール表示します。
- 2 電波強度とバッテリー残量表示
- 3 [⏮] にタッチすると表示されていない操作ボタン表示します。
- 4 演奏時間
- 5 再生状態表示
- 6 接続している機器名
 - ボタンを押すと本機に接続されているBluetooth機器リストを表示します。

操作ボタンのはたらき

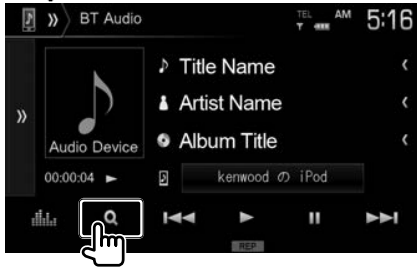
| | |
|--|--|
| | イコライザー画面を表示します。(→ P.48) |
| | 再生リストを表示します。再生するファイルを選択できます。(→ P.72) |
| | 前または次のファイルを再生します。タッチし続けると、早送りまたは早戻しします。 |
| | 再生します。 |
| | 一時停止(ポーズ)します。 |
| | タッチするたびにフォルダ(FO-RDM)/全ファイル(RDM)/オフを切り替えます。オンのときには、フォルダ内または全ファイルが順不同に再生されます。 |
| | タッチするたびに1ファイル(REP)/フォルダ(FO-REP)/オフを切り替えます。オンのときには、現在のファイルまたはフォルダ内のファイルが繰り返し再生されます。 |

- Bluetooth 対応オーディオプレーヤーの機種によっては、操作ボタンや楽曲情報、再生時間を表示できない場合があります。また、再生方法(スキップ操作やランダム再生モード切替など)を操作できない場合があります。
- 再生リストは、実際のBluetooth対応機器の表示順と一致しない場合があります。
- バッテリー残量は、実際のBluetooth対応機器の表示と一致しない場合があります。
- バッテリー残量は、Bluetooth 対応機器をハンズフリー接続したときに表示されます。

再生するファイルをリストで 選択する

再生するファイルを選択します。

1 [Q] にタッチする



2 カテゴリーを選んでタッチする



[▲]/[▼]にタッチするとリストを移動します。

3 再生するアイテムを選んでタッチする



- 目的のファイルを選択するまで、各階層の項目を選択します。
- [▲]/[▼]にタッチすると、一つ上の階層に移動します。
- アイテム右側の[▶]にタッチすると、フォルダ内のすべてのファイルを再生します。

Bluetoothの設定をする

1 [HOME] ボタンを押して、ホーム画面を表示させ[設定]にタッチする

2 [システム]にタッチする



3 [Bluetooth設定]にタッチする



4 各項目を設定する



[▲]/[▼]にタッチするとリストを移動します。

5 [X]または[←] にタッチして終了する

設定項目 (Bluetooth設定)

| | |
|---------------|---|
| デバイスリスト | [Enter]にタッチすると登録した機器がリスト表示されます。登録した機器の接続と接続解除します。(→ P.64) |
| PINコード | 現在の本機のPIN コードが表示されます。また、本機のPIN コードを変更します。(→ P.63) |
| デバイス名 | 本機のデバイス名が表示されます。 |
| デバイスアドレス | 本機のデバイスアドレスが表示されます。 |
| 自動再接続 | <ul style="list-style-type: none"> • ON*: Bluetoothの接続が切れても、電圧状態が良くなると自動で再接続する機能です。 • OFF: キャンセル |
| Bluetooth音声出力 | Bluetoothオーディオおよび受話音声を出力するスピーカーを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • フロント: フロントの左右のスピーカーから出力します。 • オール*: すべてのスピーカーから出力します。 |
| 着信の自動応答 | <ul style="list-style-type: none"> • ON: 着信時5秒後に自動的に通話可能になります。 • OFF*: 着信時に手で通話にします。 |
| 自動ペアリング | <ul style="list-style-type: none"> • ON*: 本機にiPod touchまたはiPhoneを接続すると、Bluetooth機器として自動的に登録することができます。 • OFF: 登録しません。 |
| 初期状態に戻す | [Enter]をタッチし続けると、Bluetooth機器のペアリング情報や電話帳データ、通話履歴を削除します。 |

*お買い上げ時の設定

DVD言語コード表

DVD言語コード表

| コード | 言語 | コード | 言語 | コード | 言語 |
|--------|-------------|--------|------------|---------|------------|
| AA | アフガル語 | IN | インドネシア語 | RN | キルンディ語 |
| AB | アブハジア語 | IE | インターリング語 | RO | ルーマニア語 |
| AF | アフリカーンス語 | IK | イヌピアック語 | ロシア語 | ロシア語 |
| AM | アムハラ語 | IS | アイスランド語 | RW | キニヤルワンダ語 |
| AR | アラビア語 | イタリア語 | イタリア語 | SA | サンスクリット語 |
| AS | アッサム語 | IW | ヘブライ語 | SD | シンド語 |
| AY | アイマラ語 | JA | 日本語 | SG | サンゴ語 |
| AZ | アゼルバイジャン語 | JL | イディッシュ語 | SH | セルボ=クロアチア語 |
| BA | バシキール語 | JW | ジャワ語 | SI | シンハラ語 |
| BE | ベラルーシ語 | KA | グルジア語 | SK | スロバキア語 |
| BG | ブルガリア語 | KK | カザフ語 | SL | スロベニア語 |
| BH | ビハーリー語 | KL | グリーンランド語 | SM | サモア語 |
| BI | ビスラマ語 | KM | カンボジア語 | SN | ショナ語 |
| BN | ベンガル語、バングラ語 | KN | カンナダ語 | SO | ソマリ語 |
| BO | チベット語 | KO | 韓国語 | SQ | アルバニア語 |
| BR | ブルトン語 | KS | カシミール語 | SR | セルビア語 |
| CA | カタロニア語 | KU | クルド語 | SS | シスワティ語 |
| CO | コルシカ語 | KY | キルギス語 | ST | セストゥ語 |
| CS | チェコ語 | LA | ラテン語 | SU | スダ語 |
| CY | ウェールズ語 | LN | リンガラ語 | スウェーデン語 | スウェーデン語 |
| デンマーク語 | デンマーク語 | LO | ラオス語 | SW | スワヒリ語 |
| ドイツ語 | ドイツ語 | LT | リトアニア語 | TA | タミール語 |
| DZ | ブータン語 | LV | ラトビア語、レット語 | TE | テルグ語 |
| EL | ギリシャ語 | MG | マダガスカル語 | TG | タジク語 |
| 英語 | 英語 | MI | マオリ語 | TH | タイ語 |
| EO | エスペラント語 | MK | マケドニア語 | TI | ティグリニヤ語 |
| スペイン語 | スペイン語 | ML | マラヤーラム語 | TK | トゥルクメン語 |
| ET | エストニア語 | MN | モンゴル語 | TL | タガログ語 |
| EU | バスク語 | MO | モルダビア語 | TN | セツワナ語 |
| FA | ペルシャ語 | MR | マラータ語 | TO | トンガ語 |
| FI | フィンランド語 | MS | マレー語 | TR | トルコ語 |
| FJ | フィジー語 | MT | マルタ語 | TS | ツォンガ語 |
| FO | フェロー語 | MY | ミャンマー語 | TT | タタール語 |
| フランス語 | フランス語 | NA | ナウル語 | TW | トウィ語 |
| FY | フリジア語 | NE | ネパール語 | UK | ウクライナ語 |
| GA | アイルランド語 | オランダ語 | オランダ語 | UR | ウルドゥー語 |
| GD | スコットランドゲール語 | NO | ノルウェー語 | UZ | ウズベク語 |
| GL | ガルシア語 | OC | プロバンス語 | VI | ベトナム語 |
| GN | グアラニ語 | OM | (アフアン)オロモ語 | VO | ボラビュク語 |
| GU | グジャラート語 | OR | オリヤー語 | WO | ウォロフ語 |
| HA | ハウサ語 | PA | パンジャブ語 | XH | コーサ語 |
| HI | ヒンディー語 | PL | ポーランド語 | YO | ヨルバ語 |
| HR | クロアチア語 | PS | パシュトー語 | ZU | ズール語 |
| HU | ハンガリー語 | ポルトガル語 | ポルトガル語 | 中国語 | 中国語 |
| HY | アルメニア語 | QU | ケチュア語 | | |
| IA | 国際語 | RM | ラエティ=ロマン語 | | |

ディスクについて

本機で再生できるディスクメディア

本機では、下記のディスクを再生できます。

ディスク再生対応一覧表

| 分類 | 規格 | 対応 | 説明 |
|-----|---------------|----|----------------------------------|
| DVD | DVDビデオ | ○ | — |
| | DVDオーディオ | × | — |
| | DVD-R | ○ | MP3/WMA/AAC/WAV/JPEG/MPEG1/2再生可能 |
| | DVD-RW | ○ | VRモード対応 (DVD-R/RWのみ) |
| | DVD+R | ○ | VRモード対応 (DVD-R/RWのみ) |
| | DVD+RW | ○ | CPRM対応 |
| | DVD+R DL (2層) | ○ | ビデオフォーマットのみ再生可能 |
| | DVD-R DL (2層) | ○ | ビデオフォーマットのみ再生可能 |
| | DVD-RAM | × | — |
| | 音楽CD | ○ | 8cmディスク非対応 |
| CD | CD-ROM | ○ | — |
| | CD-R | ○ | MP3/WMA/AAC/WAV/JPEG再生可能 |
| | CD-RW | ○ | — |
| | DTS-CD | × | — |
| | ビデオCD (VCD) | ○ | — |
| | スーパービデオCD | × | — |
| | フォトCD | × | — |
| | CD-EXTRA | △ | 音楽CD部分のみ再生可能 |
| | HDCD | △ | 通常の音楽CDの音質 |
| | CDCD | ○ | — |
| その他 | デュアルディスク | × | — |
| | スーパーオーディオCD | △ | CD層のみ再生可能 |

○：再生可能 △：一部再生可能
×：再生できません

• 本機で再生可能な音楽CDは、下記 マークの入ったCDだけです。下記マークの入っていないディスクは、正しく再生できない場合があります。



- ファイナライズ処理を行っていないCD-R/RWおよびDVD-R/RWは再生できません(ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフトやレコーダーのマニュアルをご覧ください)。
- その他、CD-R/RW、DVD-R/RW、およびDVD+R/RWは、記録状態によっては再生できない場合があります。

DVDのリージョン番号

本機で再生できるDVDリージョン番号(国ごとに割り当てられた番号)は「2」(または2を含むもの)と「ALL」です。
DVDディスクに表示されているリージョン番号が本機と一致しないと、本機では再生できません。

DVDディスクのマーク

| 記号 | 内容 |
|----|---|
| | リージョン番号を表します。このマークが付いているディスクはどのDVDプレーヤーでも再生できます。 |
| | 収録されている音声の言語数を表します。1本の映画の中に最大8つの言語を収録できます。お好みの音声で聞くことができます。 |
| | 収録されている字幕スーパーの言語数を表します。32カ国語まで収録できます。 |
| | 複数のアングルで撮影された映像が記録されている場合は、お好みのアングル(角度)で見ることができます。 |
| | 映像の画面タイプを表します。左のマークでは標準のテレビ(4:3)で見た場合、ワイド映像(16:9)は上下に黒帯の入る(レターボックス)映像となります。 |

操作規制マークについて

DVDは、再生箇所により本機での再生操作等規制される場合があります。このようなときは下記のマークが映像上に表示されます。内容についてはディスクのマニュアルをご覧ください。

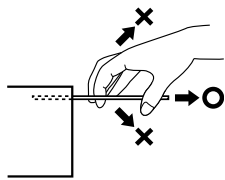


使用できないディスク

- 特殊な形状のディスクは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。
- 記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているディスクは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。
- レーベル面にシールの貼ってあるディスクを使用すると、ディスクが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるディスクは使用しないでください。
- インクジェットプリンタでレーベル面に印刷可能なCD-R/RW、DVD-R/RW、およびDVD+R/RWは使用しないでください。使用すると、誤動作をすることがあります。

ディスクの取り出しがた

本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。下側や上側に強く押しながら引き出すとディスクの記録面に傷を付ける原因となります。



ディスクの取り扱いについて

- ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。
- 取り扱いは記録面に触れないようにしてください。（レーベルが印刷されていない面が記録面です。）
- CD-R/RWやDVD-R/RW、DVD+R/RWは通常のディスクより反射膜が弱いため、傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取り扱いには十分注意をしてください。
- 記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。
- ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままディスクプレーヤーにかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障することがあります。

ディスクのお手入れ

- ディスクが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。
- 従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。

ディスクの保存

- 直射日光が当たる場所（シートやダッシュボードの上）など、温度が高くなる場所には置かないでください。特にCD-R/RWやDVD-R/RW、DVD+R/RWは通常のディスクに比べて高温、多湿の環境に弱く、車内に長時間放置すると使用できなくなる場合があります。
- 長期間演奏しないときは、本機からディスクを取り出して、ケースに入れて保管してください。キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

ディスク用アクセサリーについて

- 音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。
- 8cmCDアダプターは使用しないでください。8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店へ連絡してください。

メディアおよびファイルについて

本機で再生できるメディア

本機で再生するオーディオ/ビデオファイルを記録するメディアに関する注意事項を説明します。

使用できるメディア

使用できるディスク

使用できるオーディオファイル/ビデオファイルのメディアは、CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R/RW、およびDVD+R/RWです。

使用できるUSB機器

本機で使用できるUSB機器の条件は次のとおりです。

- USB1.1 / 2.0
 - MSC（USBマストレージクラス）対応品
 - 最大消費電流が1.5A以下
- 上記を満たしていないUSB機器は接続しないでください。正しく再生できません。また、上記を満たしているUSB機器でも、機種や状況によって、正しく再生できない場合があります。

使用できるフォーマット

ディスクフォーマット

本機で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。

- ISO 9660 Level 1
- ISO 9660 Level 2
- Joliet
- Romeo
- UDF 1.02/1.50/2.00/2.01/2.50

使用できる文字は、ライティングソフトの説明書および「ファイル名とフォルダ名の入力」をご覧ください。

ただし、本機で再生できるディスクには以下の制限があります。

- 最大フォルダ数：250
- 1フォルダ中の最大ファイル数：999
- 全ファイル総数：5000

前記のフォーマット以外で書き込まれたオーディオファイルやビデオファイルは、正常に再生されなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

USB機器のフォーマット

本機で使用できるUSB機器は、以下のフォーマットです。

- FAT32、FAT16

ただし、本機で再生できるUSB機器には以下の制限があります。

- 最大フォルダ数：250
- 1フォルダ中の最大ファイル数：999
- 全ファイル総数：5000

ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角英数文字、カナ文字、または日本語で入力できます（最大50文字/1バイト文字の場合）。これら以外の文字で入力されたファイル名およびフォルダ名は、正常に表示されません。また、使用するライティングソフトやディスクフォーマットによって、表示できる文字が制限される場合があります。詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。

また、オーディオファイルやビデオファイルと認識されて再生されるファイルは、".mp3"、".wma"、".flac"、".m4a"、".wav"、".mpg"、".mpeg"の拡張子が付いたものだけです。各形式のファイルには、正しく拡張子を付けてください。間違った拡張子を付けるとファイルを誤認識して再生されてしまい、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損する恐れがあります。

なお、本機で表示できる文字数はファイル名によって異なります。

ID3/ WMA Tagについて

本機で表示できるID3 Tagは、ID3 Tag v1.x、2.2、2.3、または2.4規格で記録された曲名、アーティスト名、およびアルバム名です。また、表示できる文字はシフトJISです。ただし、正しく表示できない文字もあります。

メディアに収録するファイルについて

本機は、オーディオファイルやビデオファイルが収録されているメディアを挿入/接続すると、最初にメディア内のすべてのファイルをチェックします。このため、再生するメディアに多くのフォルダやオーディオファイルやビデオファイル以外のファイルを書き込むと、再生するまで長時間必要になります。また、次のオーディオファイルやビデオファイルの再生に移るまで時間がかかったり、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。

著作権保護されたファイルについて

本機では、コピープロテクトや著作権管理が設定されているオーディオファイルは、再生できません。個人的に楽しむなどの場合を除き、音楽や映像などの著作物を著作権者の許諾を得ずに複製（録音）、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

オーディオ/ビデオファイルを再生する順番

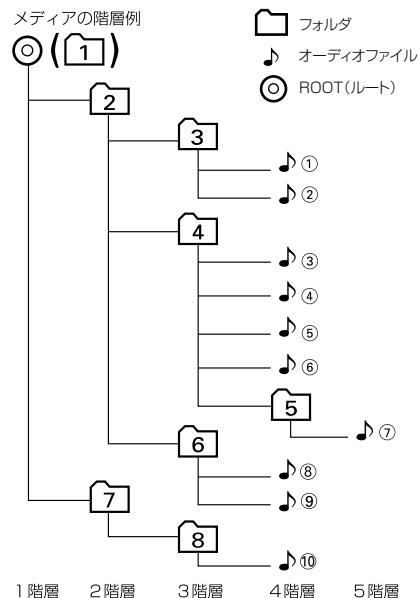
再生、ファイルスキップ、フォルダスキップでファイルやフォルダが選択される順番は、ディスクではライティングソフトで書き込まれた順番、USB機器で

メディアおよびファイルについて

はファイル名の昇順です。このため、再生されると予想していた順番と実際に再生される順番が一致しないことがあります。

ライティングソフトにもよりますが、“01”～“99”などとファイル名の頭に再生する順番を入力してからCD-Rなどに書き込むことで、再生する順番を設定することができます。

以下のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでフォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトを行った場合は、次のようになります。



本機で再生できるオーディオ/ビデオ/ピクチャファイル

本機で再生できるメディアとオーディオ/ビデオ/ピクチャファイルの種類は以下のとおりです。

オーディオファイル

- 再生できるオーディオファイル
 - AAC-LC、MP3、WMA、リニアPCM (WAV)、FLAC (96kHz/24bitまで対応) (USBのみ)
- 拡張子: m4a、mp3、wma、wav、flac
- ビットレート
 - AAC: 16 ~ 320 kbps(VBR対応)
 - MP3: 8 ~ 320 kbps(VBR対応)
 - WMA: 5 ~ 320 kbps(VBR対応)

- サンプリング周波数
 - AAC: 32 ~ 48 kHz
 - MP3/WMA: 8 ~ 48 kHz
 - WAV: 44.1 kHz

ビデオファイル

- 再生できるビデオファイル: MPEG1、MPEG2
- 拡張子: mpg、mpeg
- 音声フォーマット
 - MPEG1 Laer-2/Dolby Digital

ピクチャファイル

- 再生できるピクチャファイル: JPEG
- 拡張子: jpg、jpeg
 - プログレッシブJPEG、ロスレスJPEGは対応していません。
- 再生可能画像サイズ
 - 32 x 32~8,192 x 7,680ピクセル

アルバムアート画像

- 再生できるピクチャファイル: JPEG
- 拡張子: jpg、jpeg
- 再生可能画像サイズ
 - 32 x 32~1,232 x 672ピクセル(500KB以下)

ご使用上の注意事項

- オーディオ/ビデオ/ピクチャファイルのフォーマットによっては、本機で再生/表示できない場合があります。
- CD-DAとオーディオファイルを1枚のディスクに記録した場合、CD-DA部分のみが再生されます。
- 本機で再生するオーディオ/ビデオファイルは、必ずバックアップを作成しておいてください。予期せぬ自体で、ファイルが破壊される場合があります。
- USB機器は、車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因になります。
- USBハブを介してUSB機器を認識させることはできません。
- 2つ以上のパーティションに分かれているUSB機器は使用しないでください。

Androidについて

本機に接続できるAndroidについて

本機に接続できるAndroidは以下のとおりです。

- Android OS 4.1 以降に対応しています。ただしAndroid 機器によってはOS が 4.1 以降であっても、AOA 2.0に対応していないことがあります。
- ご使用のAndroid 機器がマストレージクラスとAOA 2.0 の両方に対応しているときは、優先的にAOA 2.0 で再生されます。

Androidの接続ケーブルについて

本機にAndroidスマートフォンを接続するときは、Androidスマートフォンに付属または市販のUSB接続ケーブルが必要です。

- 接続ケーブルは、車内に放置しないでください。

iPodについて

本機でコントロールできるiPodについて

本機からコントロールできるiPodは以下のとおりです。

- Made for
iPod touch (6th generation)*
iPhone X*
iPhone 8*
iPhone 8 Plus*
iPhone 7*
iPhone 7 Plus*
iPhone SE*
iPhone 6s*
iPhone 6s Plus*
iPhone 6*
iPhone 6 Plus*
iPhone 5s*
iPhone 5c*
iPhone 5*
*: 音楽再生のみに対応

本書では上記iPodおよびiPhoneをまとめて「iPod」と呼びます。また、ビデオ対応iPodを区別する場合には「iPodビデオ」と呼びます。

本機に表示できる文字の種類は、半角英数字、半角カタカナ、および全角文字です。ただし、正しく表示できない文字もあります。

故障かな?と思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

共通

| 症状 | 考えられる原因 | 対処方法 |
|--------------------------------|----------------------------|---|
| 電源がオンにならない。 | ヒューズが切れている。 | コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。 |
| | 電源コード、入出力ケーブルなどの接続が間違っている。 | お買い上げの販売店で接続を確認してください。 |
| 画面が暗い。 | モニターの温度が低い。 | 液晶パネルの特性上、モニターの温度が下がっているときは、電源をオンにしたときに、通常より暗い場合があります。電源をオンにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。通常の明るさに戻ります。 |
| | 画質設定の明るさが低い。 | 画質設定の明るさを調整してください。(→ P.45) |
| 画面が見にくい。 | 見る角度によってコントラスト、明るさが変わります。 | <ul style="list-style-type: none"> コントラスト、明るさを調整してください。(→ P.45) パネルの角度を調整してください。(→ P.14、P.55) |
| 映像の色調がおかしい。 | — | 画質を調整してください。(→ P.45) |
| 別売のバックモニターまたはパノラマモニターに切り替わらない。 | 正しく接続されていない。 | お買い上げの販売店にご相談ください。 |
| 音が出ない/音が小さい。 | バランス、フェーダーが片方に寄っている。 | バランスやフェーダーを正しく調整してください。(→ P.51) |
| 音質が悪い(音がひずむ)。 | 音量が大きすぎる。 | 音量を適正に調整してください。 |
| | スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。 | お買い上げの販売店にご相談ください。 |

AV機能

| 症状 | 考えられる原因 | 対処方法 |
|----------|---------|--------------------|
| 映像が映らない。 | 走行している。 | 走行中は映像を見ることができません。 |

ディスク再生

| 症状 | 考えられる原因 | 対処方法 |
|-----------------------|-----------------|--|
| ディスクの再生中に振動で映像や音が切れる。 | 取り付けが不安定になっている。 | お買い上げの販売店にご相談ください。なお、駐停車中でも音飛びする場合やディスクの同じところで音飛びする場合は、ディスクに原因があります。 |

| 症状 | 考えられる原因 | 対処方法 |
|--------------------------------|-----------------------------|--|
| ディスクを再生できない。 | ディスクが裏返しになっている。 | レーベル面を上にして入れなおしてください。 |
| | ディスクに傷や汚れがある。 | ディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。(→ P.76) |
| | 本機内部が結露している。 | ディスクを取り出し、しばらく放置(約1時間)してから使用してください。 |
| CD-R、CD-RWが再生できない。 | ファイナライズ処理を行っていない。 | CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーのマニュアルをご覧ください。 |
| DVDの禁止マーク“Ⓢ”が画面に表示されて、操作ができない。 | ディスクが禁止している操作や、無効な操作を行っている。 | ディスクが禁止している操作や、無効な操作をしたときは、禁止マークが表示されます。禁止マークの表示中は操作はできません。 |
| トラックなどの名称が正しく表示されない。 | 本機で表示できない文字が名称に含まれている。 | 本機では、半角英数字と日本語が表示できます。これ以外の特殊な文字は、表示できない場合があります。 |

ファイル再生

| 症状 | 考えられる原因 | 対処方法 |
|----------------------|--|--|
| ファイルを再生できない。 | オーディオ/ビデオファイルが本機で再生できるフォーマットで記録されていない。 | 再生できるフォーマットを確認してください。(→ P.77) |
| | ファイルに拡張子が付いてない。 | 正しい拡張子を付けてください。(→ P.78) |
| | ディスクに傷や汚れがある。 | ディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。(→ P.76) |
| ファイルを再生中に音飛びする。 | ディスクに傷や汚れがある。 | ディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。(→ P.76) |
| ファイルの再生が始まるまで時間がかかる。 | メディアに記録されているフォルダ/ファイル/階層が多い。 | 最初にメディア内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているメディアを使用すると、再生されるまで長時間かかる場合があります。 |

iPod/iPhone

| 症状 | 考えられる原因 | 対処方法 |
|-------------------------|--|--|
| iPod/iPhoneが認識されない。 | 本機でコントロールできないiPod/iPhoneが接続されている。 接続ケーブルが正しく接続されていないか、iPod/iPhoneが正しく動作していない。 | 「iPod/iPhoneについて」をご覧ください。(→ P.79) iPod/iPhoneを本機から取り外し、接続しなおしてください。それでもiPod/iPhoneが認識されない場合は、iPod/iPhoneをリセットしてください。 |
| | Bluetoothの接続が切れている。 | Bluetoothを接続しなおしてください。 |
| | iPod/iPhoneの接続設定を間違えている。 | iPod/iPhoneの接続は、接続ケーブルとBluetoothがあります。設定を確認してください。(→ P.33) |
| iPod/iPhoneをコントロールできない。 | iPod/iPhoneにヘッドフォンなどが接続されたまま、本機に接続した。 iPod/iPhoneが異常状態になっている。 | iPod/iPhoneを本機から取り外し、iPod/iPhoneからすべての機器を取り外してから接続しなおしてください。 <ul style="list-style-type: none"> iPod/iPhoneメニューに表示されるリセットではなく、iPod/iPhone本機のリセットを行ってください。 iPod/iPhoneを本機から取り外し、iPod/iPhoneの電源を入れなおしてください。 |
| iPod/iPhoneの曲を再生できない。 | 接続ケーブルが正しく接続されていない。 | iPod/iPhoneを本機のUSBケーブルに正しく接続してください。 |
| 音が歪む。 | iPodのイコライザー機能がオンになっている。 | オフにしてください。 |
| 充電完了までに時間がかかる。 | — | 充電を目的とする場合は、iPod/iPhoneの再生を停止することをお勧めします。 |
| iPod/iPhoneの充電ができない。 | 本機の電源が入っていない。 | 本機の電源を入れてください。 |

USB

| 症状 | 考えられる原因 | 対処方法 |
|--------------|--------------------|--------------------------|
| USB機器を認識しない。 | USB入力に正しく接続されていない。 | USB機器をUSB入力に正しく接続してください。 |

Android

| 症状 | 考えられる原因 | 対処方法 |
|-------------------------------|--|--|
| 音が出ない。 | Androidスマートフォンの接続ケーブルが正しく接続されていない。 — | 接続するAndroidスマートフォン専用の接続ケーブル(市販品)で接続しなおしてください。 接続しているAndroidスマートフォンから再生の操作をしてください。 |
| “接続されていません”または“読み込み中”が点滅し続ける。 | Androidスマートフォンの開発者向けオプションがオンになっている。 Androidスマートフォンが正しく接続されていない。 | Androidスマートフォンの開発者向けオプションをオフにしてください。 Androidスマートフォンを正しく接続して、正しい設定を選んでください。 |

Bluetoothオーディオ/ハンズフリー

| 症状 | 考えられる原因 | 対処方法 |
|-----------------------------|--|--|
| Bluetooth機器が登録できない。 | パスキーまたはPINコードが合っておりません。 | Bluetooth対応機器によっては、パスキーまたはPINコードが固定されている場合があります。Bluetooth対応オーディオプレーヤーの取扱説明書にパスキーまたはPINコードが記載されている場合は、そのコードを設定してください。記載されていない場合は“0000”を試してください。 |
| Bluetoothオーディオプレーヤーの音が途切れる。 | 本機とBluetooth対応オーディオプレーヤーの距離が遠すぎます。 他のBluetooth機器が通信を妨げています。 | Bluetooth対応オーディオプレーヤーを本機に近づけてください。 他のBluetooth機器の電源をオフにしてください。または、他のBluetooth機器を遠ざけてください。 |
| | 他のBluetooth機器と通信中です。または、他のプロファイルで通信中です。 | たとえば、電話帳の登録中などには、音声途切れる場合があります。 |
| ハンズフリー通話の受話が小さい。 | 音量調整が小さくなっています。 | 通話中に調整してください。 |

故障かな?と思ったら

次のメッセージが表示された場合は、一覧に従って対処してください。

| メッセージ | 考えられる原因 | 対処方法 |
|----------------|--|---|
| 認証エラー | サポートされていないiPod/iPhoneを接続した。 | 「本機でコントロールできるiPod/iPhoneについて」で、接続しているiPod/iPhoneが本機で使える機種かどうか確認してください。 (→ P.79) |
| 接続されていません | <ul style="list-style-type: none">iPod/iPhone/Android スマートフォンが接続されていないときに、ソースをiPodまたはAndroidに切り替えた。iPod/iPhone/Android スマートフォンを取り外した。 | iPod/iPhone/Android スマートフォンを接続しなおしてください。 |
| デバイスがありません | <ul style="list-style-type: none">USB機器が接続されていないときに、ソースをUSBに切り替えた。USB機器を取り外した。 | USB機器を接続してください。 |
| 映像信号がありません | <ul style="list-style-type: none">リアカメラの映像信号が入力されていない。 | お買い上げの販売店にご相談ください。 |
| 接続エラー 電圧エラー | スピーカーのコードショートまたは車両のシャーシに接触したために保護回路が働いた。 | お買い上げの販売店にご相談ください。 |
| パーキングオフ | 走行中に映像を見ようとした。 | 走行中は映像を見ることができません。 |
| USBデバイスエラー | サポートされていないUSB機器を接続した。 | USB機器を取り外し、本機の電源をオフした後、USB機器を接続してください。それでもエラー表示が消えない場合は、USB機器をフォーマットするか、他のUSB機器を使用してください。 |

用語解説

主な用語を解説します。

AAC

「Advanced Audio Coding」の略称で、高圧縮かつ高音質が特長の音声圧縮方式です。

MP3 (エムピースリー)

「MPEG Audio Layer 3」の略称で、音声圧縮方式の国際規格です。

MPEG (エムベグ)

規格を作成した組織「Moving Picture Experts Group」の略称で、ビデオ、オーディオ、およびシステムまで含めた国際規格です。

MSC (マストストレージクラス)

追加プログラムなしで、パソコンに外部記憶装置として認識されるUSB機器の規格です。

WAV (ウェーブ)

「RIFF waveform Audio Format」の略称で、米国マイクロソフト社と米国IBM社が開発した音声データのフォーマットです。

WMA (ダブルユーエムエー)

「Windows Media™ Audio」の略称で、米国Microsoft社が開発した音声圧縮符号化方式です。

タイトル

DVDビデオディスクに記載されている映像や曲などを区切るいちばん大きな単位です。

チャプター

DVDビデオディスクにタイトルの内容を場面や曲ごとにさらに小さく区切った単位です。

トラック

CDに収録されている曲の区切り(曲分)をトラックと呼びます。各トラックに付けられた番号をトラックナンバーと呼びます。

商標

Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC の登録商標で、株式会社JVCケンウッドはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

The "AAC" logo is a trademark of Dolby Laboratories.

Windows Media™は、米国 Microsoft Corporation の米国、およびその他の国における商標です。

DVD is a trademark of DVD format/Logo Licensing Corporation registered in the U. S. Japan and other countries.

Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple product(s) identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance. iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

Apple, iPhone, iPod, iPod nano, iPod touch, iTunes, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

Android is trademark of Google LLC.

Font for this product is designed by Ricoh.

This item incorporates copy protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights of Rovi Corporation. Reverse engineering and disassembly are prohibited. THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com).

仕様

モニター部

| | |
|------------|-------------------------------------|
| 画面サイズ | 7.0V 型ワイド 156.6mm (幅) × 81.6mm (高さ) |
| 表示方式 | 透過TN型 |
| 駆動方式 | TFTアクティブマトリクス |
| 画素数 | 1,152,000個 800H×480V×RGB |
| 有効画素数 | 99.99% |
| 画素配列 | RGBストライプ配列 |
| 使用光源(照明方式) | LED |

DVDプレーヤー部

| | |
|-------------|--------------------------------------|
| オーディオフォーマット | リニアPCM/Dolby Digital/MP3/WMA/AAC/WAV |
| ビデオフォーマット | MPEG1/MPEG2 |
| ディスクフォーマット | DVD-Video/DVD-VR/VIDEO-CD/CD-DA/CPRM |
| サンプリング周波数 | 44.1kHz/48kHz/96kHz |

USB I/F部

| | |
|-------------|----------------------|
| USB規格 | USB2.0 High Speed |
| USBクラス | マストレージクラス |
| ファイルシステム | FAT16/32 |
| 最大供給電流 | DC5V 1.5A |
| オーディオフォーマット | MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC |
| ビデオフォーマット | MPEG1/MPEG2 |

FMチューナー部

| | |
|------------------|---------------------------|
| 受信周波数範囲(周波数ステップ) | 76.0MHz~ 99.0MHz (100kHz) |
|------------------|---------------------------|

AMチューナー部

| | |
|------------------|------------------------|
| 受信周波数範囲(周波数ステップ) | 522kHz~ 1629kHz (9kHz) |
|------------------|------------------------|

映像部

| | |
|--------------------------|-----------|
| 映像方式 | NTSC/PAL |
| ドライブレコーダー入力レベル(φ3.5mm端子) | 1Vp-p/75Ω |
| 外部映像出力レベル(RCA端子) | 1Vp-p/75Ω |

オーディオ部

| | |
|--------------|------------------------|
| 最大出力 | 50W×4 |
| 定格出力 | 30W×4 (4Ω、1kHz、10%THD) |
| スピーカーインピーダンス | 4~8Ω |

Bluetooth

| | |
|----------|-----------------------------|
| 対応プロファイル | HFP, PBAP, A2DP, AVRCP, SPP |
| 対応コーデック | SBC/AAC |
| SCMS-T | 対応 |

仕様

電源/寸法/質量

| | |
|--------|---|
| 電源電圧 | 14.4V (10.5V~ 16V) |
| 最大消費電流 | 10A |
| 本体 | 外形寸法 (W × H × D) 178mm×100mm×162mm |
| | 埋込寸法 (W × H × D) 206mm x 104mm x 178mm |
| | 206mm×104mm×178mm |
| | 質量(重さ) 2,250g |
| 使用温度範囲 | -10 ~ +60℃ |

- これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。
- モニター部は、高精度の技術で作られておりますが、一部に非点灯、常時点灯の表示(画素)が存在することがあります。(故障ではありません。あらかじめご了承ください。)

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証について

保証書 この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(→ P.80)を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。
あらかじめご了承ください。

保証期間中は…
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後は…
お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。
補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店にご遠慮なくお問い合わせください。

発売元

ダイハツ工業株式会社